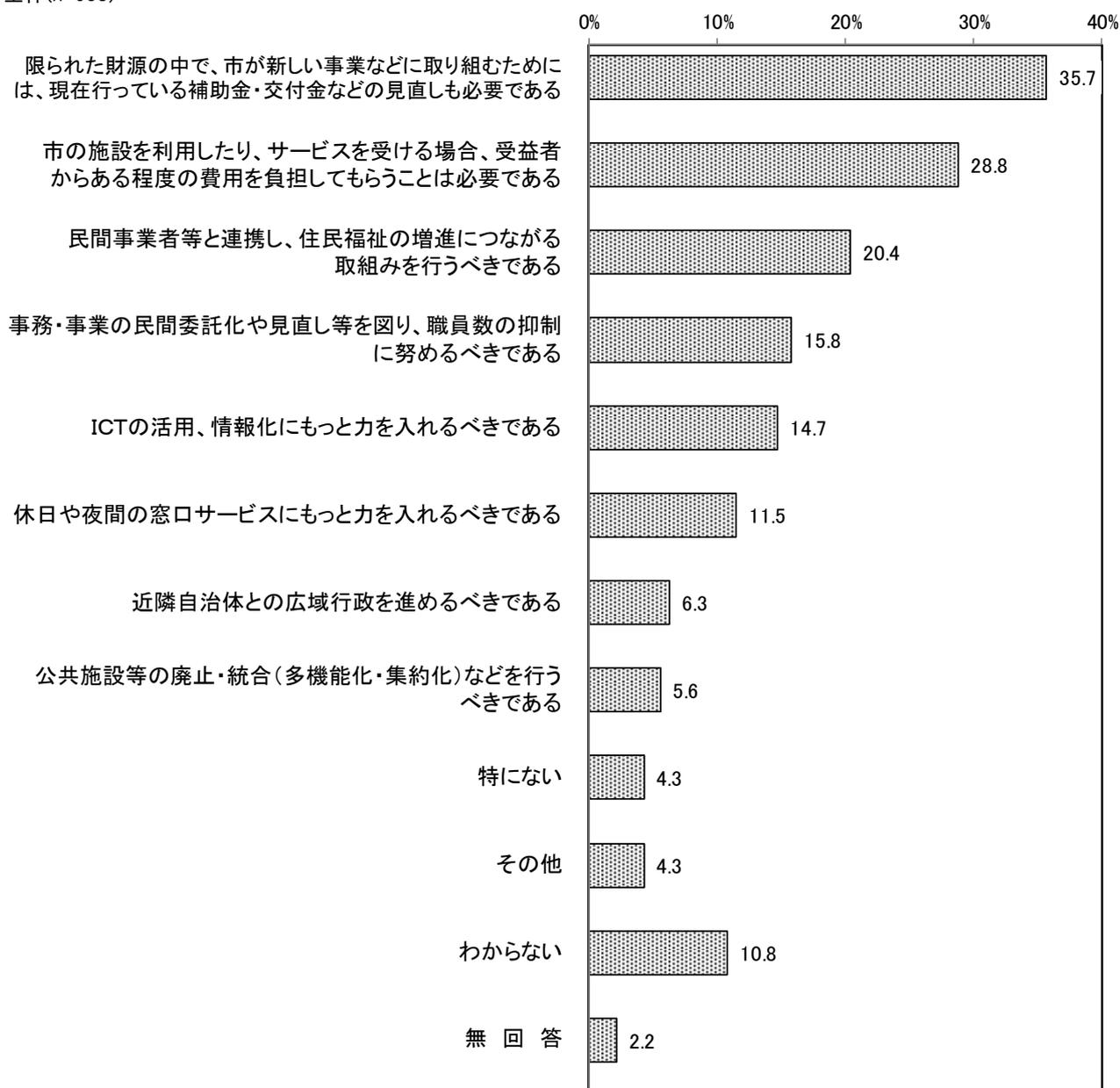


7. 行財政改革

(1) 行財政改革に対する考え

全体では、「限られた財源の中で、市が新しい事業などに取り組むためには、現在行っている補助金・交付金などの見直しも必要である」が35.7%、次いで「市の施設を利用したり、サービスを受ける場合、受益者からある程度の費用を負担してもらうことは必要である」(28.8%)、「民間事業者等と連携し、住民福祉の増進につながる取組みを行うべきである」(20.4%)となっています。

問19 行財政改革に対する考え[%・複数回答]
全体(n=538)



「その他」の回答内容	件数
羽村駅西口の区画整理事業の見直し	4
ふるさと納税の実施	3
類似事業の再編・統合を進め、効率化を図る	3
職員の教育・事務作業の効率化	2
行政の意識改革	1
少子化対策	1
市議会議員数の削減	1
企業及び商業施設の誘致	1
その他	7

過去の調査と比較すると、「限られた財源の中で、市が新しい事業や施策に取り組むためには、現在行っている補助金・交付金などの見直しも必要である」が前々回より低くなっています。「事務・事業の民間委託化や見直し等を図り、職員数の抑制に努めるべきである」が前回よりやや低く、前々回より低くなっています。

	限られた財源の中で、市が新しい事業や施策に取り組むためには、現在行っている補助金・交付金などの見直しも必要である	市の施設を利用したり、サービスを受ける場合、受益者からある程度の費用を負担してもらうことは必要である	民間事業者等と連携し、住民福祉の増進につながる取組みを行うべきである	事務・事業の民間委託化や見直し等を図り、職員数の抑制に努めるべきである	ICTの活用、情報化にもっと力を入れるべきである※	休日や夜間の窓口サービスにもっと力を入れるべきである	近隣自治体との広域行政を進めるべきである	公共施設等の廃止・統合(多機能化・集約化)などを行うべきである
今回(R2)	35.7	28.8	20.4	15.8	14.7	11.5	6.3	5.6
前回(H27)	43.2	29.0	-	27.8	6.0	16.2	13.9	-
前々回(H22)	51.4	29.4	-	34.9	5.2	18.5	10.9	-

※ 前回、前々回の選択肢は「OA化、情報化にもっと力を入れるべきである」

性・年代別で見ると、女性 30 歳代で「ICTの活用、情報化にもっと力を入れるべきである」(34.3%) が全体より高くなっています。

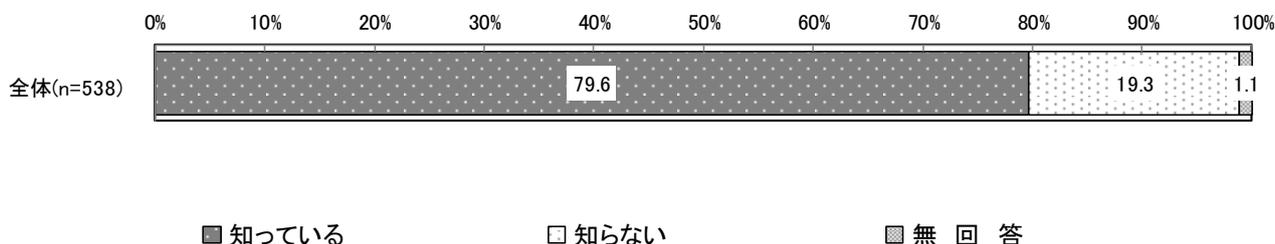
		問19 行財政改革に対する考え										
		n	限られた財源の中で、市が新しい事業などに取り組むためには、現在行っている補助金・交付金などの見直しも必要である	市の施設を利用したり、サービスを受ける場合、受益者からある程度の費用を負担してもらうことは必要である	民間事業者等と連携し、住民福祉の増進につながる取り組みを行うべきである	事務・事業の民間委託や見直し等を図り、職員数の抑制に努めるべきである	ICTの活用、情報化にもっと力を入れるべきである	休日や夜間の窓口サービスにもっと力を入れるべきである	近隣自治体との広域行政を進めるべきである	公共施設等の廃止・統合(多機能・集約化)などを行うべきである	特にな	その他
全体		538	35.7	28.8	20.4	15.8	14.7	11.5	6.3	5.6	4.3	4.3
性別	男	210	41.9	34.3	14.8	14.3	14.8	14.8	7.1	6.2	4.8	4.8
	女	315	31.4	25.4	23.5	16.8	14.9	9.5	5.7	4.4	4.1	3.5
性・年代別	男・20歳未満	2	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	● 0.0	■ 0.0	■ 0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男・20歳代	17	41.2	□ 41.2	■ 5.9	● 0.0	☆ 41.2	17.6	0.0	0.0	0.0	5.9
	男・30歳代	22	45.5	● 13.6	22.7	9.1	22.7	○ 27.3	0.0	9.1	4.5	4.5
	男・40歳代	49	□ 49.0	28.6	20.4	16.3	18.4	10.2	8.2	4.1	4.1	2.0
	男・50歳代	31	41.9	32.3	■ 9.7	16.1	9.7	○ 29.0	12.9	6.5	6.5	9.7
	男・60歳代	40	32.5	○ 45.0	17.5	15.0	10.0	10.0	12.5	5.0	7.5	2.5
	男・70歳以上	49	42.9	□ 40.8	■ 10.2	18.4	6.1	8.2	4.1	10.2	4.1	6.1
	女・20歳未満	3	★ 0.0	★ 0.0	□ 33.3	● 0.0	■ 0.0	■ 0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女・20歳代	21	□ 47.6	★ 4.8	■ 9.5	● 0.0	□ 28.6	14.3	4.8	4.8	9.5	0.0
	女・30歳代	35	■ 22.9	25.7	22.9	11.4	○ 34.3	5.7	11.4	2.9	0.0	2.9
	女・40歳代	62	● 16.1	25.8	22.6	16.1	17.7	8.1	12.9	4.8	1.6	6.5
	女・50歳代	73	38.4	20.5	27.4	12.3	17.8	11.0	5.5	4.1	5.5	6.8
	女・60歳代	60	36.7	31.7	20.0	□ 30.0	■ 1.7	13.3	0.0	3.3	5.0	0.0
	女・70歳以上	61	34.4	32.8	27.9	19.7	6.6	6.6	1.6	6.6	4.9	1.6

8. 水道事業

(1) 市水道事業の水源の周知度

全体では、「知っている」が79.6%、「知らない」が19.3%となっています。

問20 市水道事業の水源の周知度[%]



過去の調査と比較すると、「知っている」が前々回よりやや高くなっています。「知らない」が前々回よりやや低くなっています。

	知っている	知らない
今回(R2)	79.6	19.3
前回(H27)	77.0	21.6
前々回(H22)	66.5	32.3

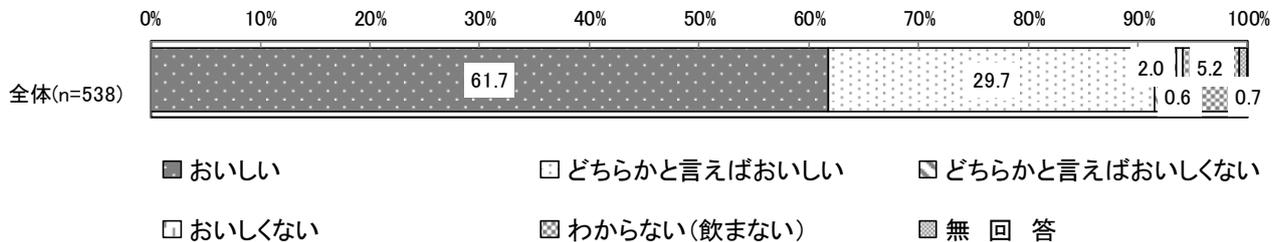
性・年代別で見ると、男性60歳代で「知っている」(62.5%)が全体より低くなっています。女性60歳代で「知っている」(91.7%)が全体よりやや高くなっています。

	n	問20 市水道事業の水源の周知度			
		知っている	知らない	無回答	
全体	538	79.6	19.3	1.1	
性別					
男	210	73.3	24.8	1.9	
女	315	83.5	15.9	0.6	
性・年代別	男・20歳未満	2	☆ 100.0	● 0.0	0.0
	男・20歳代	17	★ 52.9	☆ 47.1	0.0
	男・30歳代	22	72.7	22.7	4.5
	男・40歳代	49	77.6	22.4	0.0
	男・50歳代	31	87.1	12.9	0.0
	男・60歳代	40	● 62.5	○ 35.0	2.5
	男・70歳以上	49	75.5	20.4	4.1
	女・20歳未満	3	☆ 100.0	● 0.0	0.0
	女・20歳代	21	71.4	28.6	0.0
	女・30歳代	35	80.0	20.0	0.0
	女・40歳代	62	77.4	22.6	0.0
	女・50歳代	73	82.2	16.4	1.4
	女・60歳代	60	□ 91.7	■ 8.3	0.0
	女・70歳以上	61	88.5	9.8	1.6

(2) 市水道水の印象

全体では、〈おいしい〉（「おいしい」＋「どちらかと言えばおいしい」）が91.4%、次いで「わからない（飲まない）」（5.2%）、〈おいしくない〉（「どちらかと言えばおいしくない」＋「おいしくない」）（2.6%）となっています。

問21 市水道水の印象[%]



過去の調査と比較すると、「おいしい」は60%前後、「どちらかと言えばおいしい」が30%前後、「どちらかと言えばおいしくない」・「おいしくない」・「わからない（飲まない）」は10%未満で推移しており、いずれの選択肢でも大きな変化は見られません。

	おいしい	どちらかと言えばおいしい	どちらかと言えばおいしくない	おいしくない	わからない(飲まない)
今回(R2)	61.7	29.7	2.0	0.6	5.2
前回(H27)	59.5	31.7	1.4	0.6	5.4
前々回(H22)	56.4	34.0	2.4	0.6	5.7

性・年代別で見ると、女性40歳代で「おいしい」（41.9%）が全体より低くなっていますが、「どちらかと言えばおいしい」（48.4%）が全体より高くなっています。

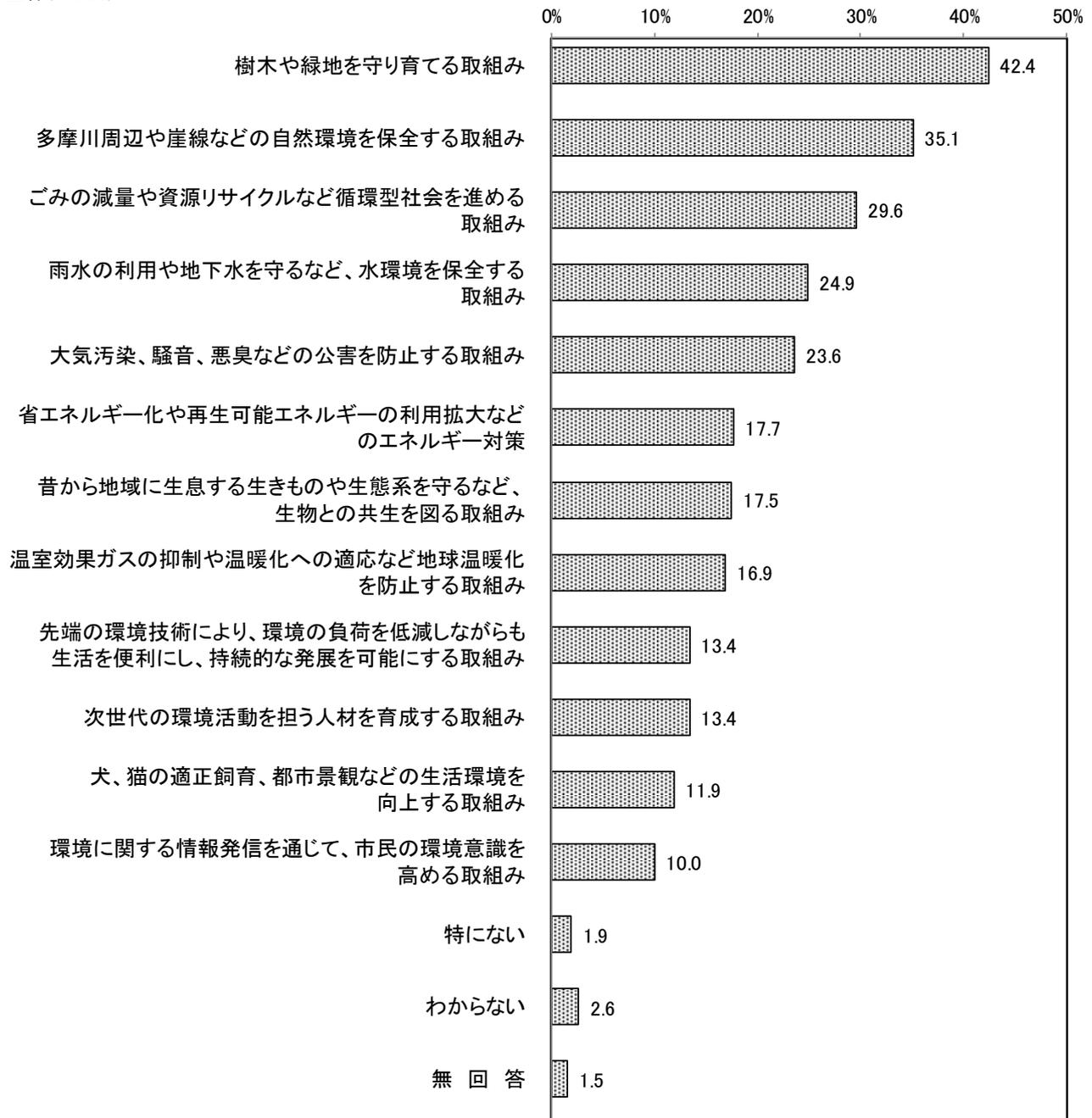
	n	問21 市水道水の印象					
		おいしい	どちらかと言えばおいしい	どちらかと言えばおいしくない	おいしくない	わからない(飲まない)	無回答
全体	538	61.7	29.7	2.0	0.6	5.2	0.7
性別							
男	210	57.1	31.9	2.4	1.0	6.2	1.4
女	315	64.4	28.3	1.9	0.3	4.8	0.3
性・年代別							
男・20歳未満	2	☆ 100.0	★ 0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男・20歳代	17	70.6	★ 5.9	0.0	5.9	□ 17.6	0.0
男・30歳代	22	★ 40.9	□ 40.9	4.5	0.0	9.1	4.5
男・40歳代	49	53.1	□ 40.8	2.0	0.0	4.1	0.0
男・50歳代	31	67.7	25.8	0.0	0.0	6.5	0.0
男・60歳代	40	52.5	37.5	2.5	0.0	7.5	0.0
男・70歳以上	49	59.2	28.6	4.1	2.0	2.0	4.1
女・20歳未満	3	☆ 100.0	★ 0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女・20歳代	21	□ 76.2	★ 9.5	4.8	0.0	9.5	0.0
女・30歳代	35	○ 80.0	● 14.3	2.9	0.0	2.9	0.0
女・40歳代	62	● 41.9	○ 48.4	3.2	0.0	6.5	0.0
女・50歳代	73	60.3	27.4	1.4	1.4	8.2	1.4
女・60歳代	60	66.7	31.7	0.0	0.0	1.7	0.0
女・70歳以上	61	□ 75.4	21.3	1.6	0.0	1.6	0.0

9. 環境

(1) 環境への取組みとして重点をおくべきもの

全体では、「樹木や緑地を守り育てる取組み」が42.4%、次いで「多摩川周辺や崖線などの自然環境を保全する取組み」(35.1%)、「ごみの減量や資源リサイクルなど循環型社会を進める取組み」(29.6%)となっています。

問22 環境への取組みとして重点をおくべきもの〔%・複数回答〕
全体(n=538)



上位 10 項目について、属性別にまとめたものが以下の表です。

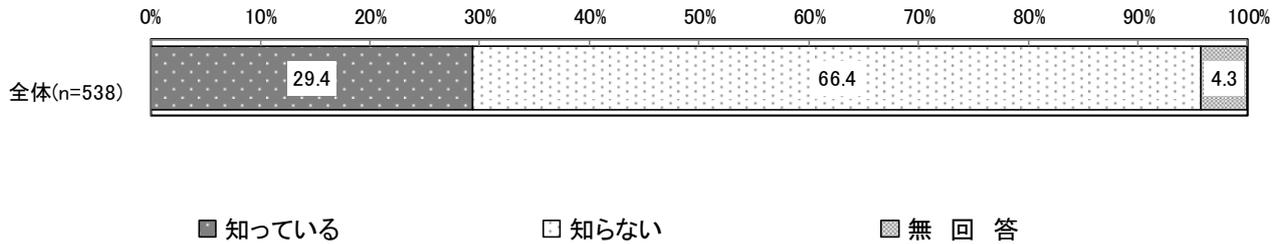
性・年代別で見ると、女性 30 歳代で「昔から地域に生息する生きものや生態系を守るなど、生物との共生を図る取組み」(34.3%) が全体より高くなっています。

		問22 環境への取組みとして重点をおくべきもの										
		n	樹木や緑地を守る取組み	多摩川周辺や崖線などの自然環境を保全する取組み	ごみの減量や資源リサイクルなど循環型社会を進める取組み	雨水の利用や地下水を守るなど、水環境を保全する取組み	大気汚染、騒音、悪臭などの公害を防止する取組み	省エネルギー化や再生可能エネルギーの利用拡大などのエネルギー対策	昔から地域に生息する生きものや生態系を守るなど、生物との共生を図る取組み	温室効果ガスの抑制や温暖化への適応など地球温暖化を防止する取組み	先端の環境技術により、環境の負荷を低減しながらも生活を便利にし、持続的な発展を可能にする取組み	次世代の環境活動を行う人材を育成する取組み
全体		538	42.4	35.1	29.6	24.9	23.6	17.7	17.5	16.9	13.4	13.4
性別	男	210	41.9	40.5	31.9	22.9	25.7	16.7	17.1	14.3	12.9	11.4
	女	315	42.2	31.7	28.6	26.0	22.2	18.1	18.1	18.7	13.7	14.0
性・年代別	男・20歳未満	2	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	☆ 50.0	☆ 50.0	● 0.0	● 0.0	■ 0.0	■ 0.0
	男・20歳代	17	35.3	○ 52.9	29.4	■ 11.8	17.6	17.6	□ 29.4	11.8	■ 0.0	5.9
	男・30歳代	22	○ 59.1	☆ 59.1	22.7	■ 13.6	22.7	● 0.0	27.3	■ 4.5	18.2	13.6
	男・40歳代	49	36.7	36.7	34.7	18.4	32.7	22.4	18.4	18.4	12.2	10.2
	男・50歳代	31	48.4	35.5	25.8	25.8	25.8	9.7	25.8	12.9	□ 25.8	9.7
	男・60歳代	40	47.5	35.0	□ 42.5	30.0	22.5	12.5	■ 7.5	17.5	15.0	12.5
	男・70歳以上	49	34.7	40.8	30.6	28.6	24.5	24.5	10.2	14.3	6.1	14.3
	女・20歳未満	3	☆ 66.7	33.3	33.3	★ 0.0	33.3	○ 33.3	○ 33.3	● 0.0	○ 33.3	■ 0.0
	女・20歳代	21	42.9	28.6	33.3	23.8	19.0	14.3	19.0	14.3	□ 23.8	■ 0.0
	女・30歳代	35	45.7	31.4	20.0	31.4	17.1	17.1	○ 34.3	11.4	14.3	□ 25.7
	女・40歳代	62	43.5	35.5	27.4	24.2	29.0	24.2	12.9	16.1	6.5	8.1
	女・50歳代	73	41.1	27.4	30.1	28.8	26.0	16.4	23.3	13.7	17.8	8.2
	女・60歳代	60	36.7	30.0	30.0	31.7	■ 10.0	21.7	11.7	□ 28.3	10.0	15.0
	女・70歳以上	61	44.3	36.1	29.5	18.0	26.2	11.5	13.1	24.6	14.8	□ 24.6

(2)「グリーン購入」制度の認知度

全体では、「知らない」が66.4%、「知っている」が29.4%となっています。

問23 「グリーン購入」制度の認知度[%]



性・年代別で見ると、女性30歳代で「知らない」(80.0%)が全体よりやや高くなっています。

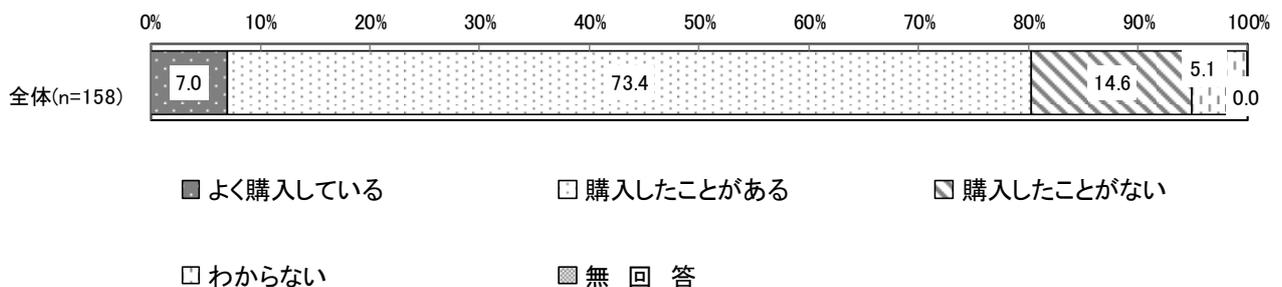
	n	問23 「グリーン購入」制度の認知度		
		知っている	知らない	無回答
全体	538	29.4	66.4	4.3
性別				
男	210	29.0	66.7	4.3
女	315	29.8	66.0	4.1
性・年代別				
男・20歳未満	2	★ 0.0	☆ 100.0	0.0
男・20歳代	17	■ 17.6	□ 76.5	5.9
男・30歳代	22	22.7	□ 77.3	0.0
男・40歳代	49	30.6	69.4	0.0
男・50歳代	31	25.8	74.2	0.0
男・60歳代	40	37.5	■ 55.0	7.5
男・70歳以上	49	30.6	59.2	10.2
女・20歳未満	3	33.3	66.7	0.0
女・20歳代	21	28.6	71.4	0.0
女・30歳代	35	■ 17.1	□ 80.0	2.9
女・40歳代	62	33.9	66.1	0.0
女・50歳代	73	□ 39.7	57.5	2.7
女・60歳代	60	28.3	65.0	6.7
女・70歳以上	61	23.0	67.2	9.8

※(2)-①は、(2)で「知っている」と回答した方のみの数値です。

(2)-①「グリーン購入」の製品の購入状況

全体では、<購入した>（「よく購入している」+「購入したことがある」）が80.4%、次いで「購入したことがない」（14.6%）となっています。

問23-1 「グリーン購入」の製品の購入状況[%]

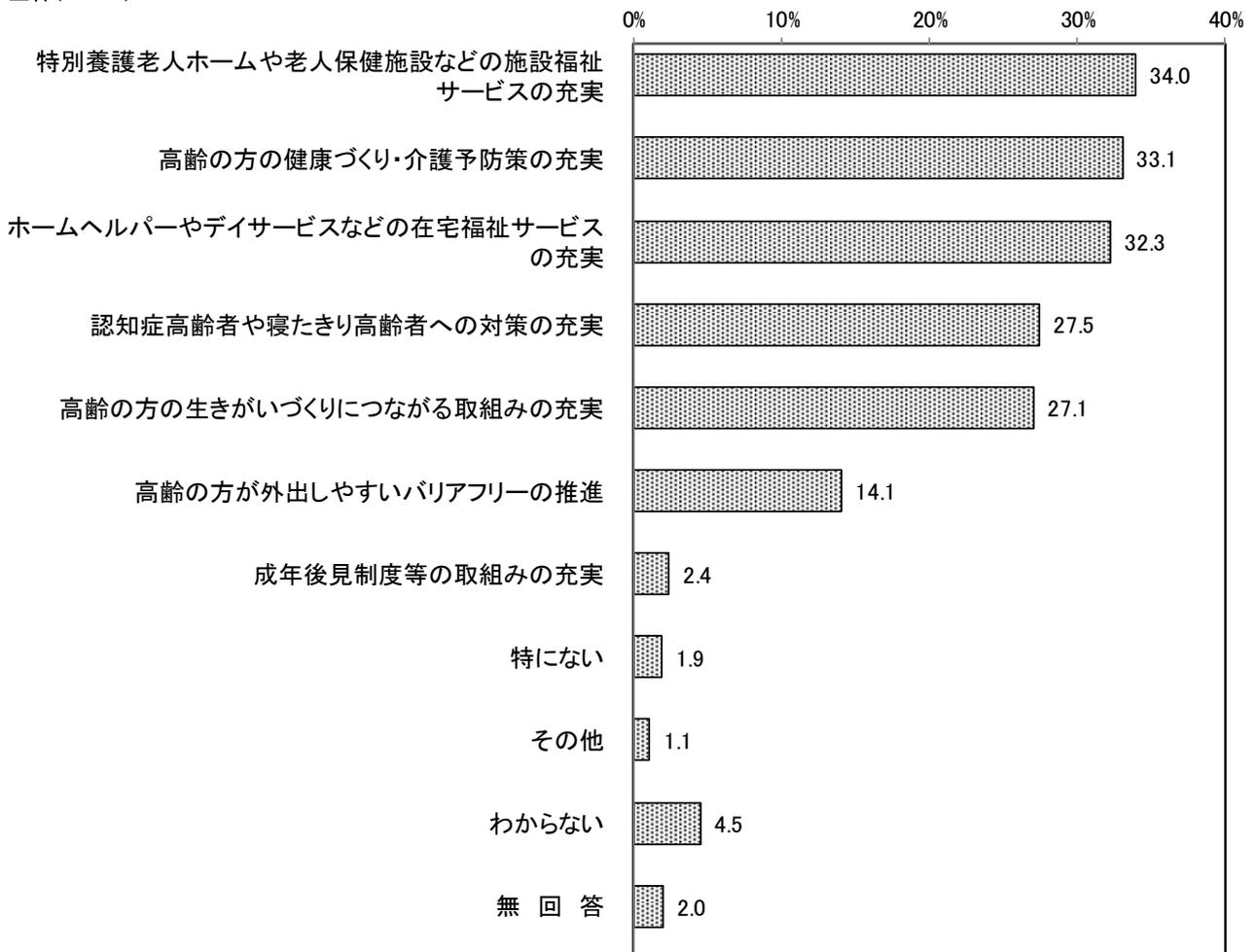


10. 高齢者福祉

(1) 市に力を入れてほしい高齢者福祉に関する取組み

全体では、「特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設福祉サービスの充実」が 34.0%、次いで「高齢の方の健康づくり・介護予防策の充実」(33.1%)、「ホームヘルパーやデイサービスなどの在宅福祉サービスの充実」(32.3%) となっています。

問24 市に力を入れてほしい高齢者福祉に関する取組み〔%・複数回答〕
全体(n=538)



「その他」の回答内容	件数
病院、クリニック、施設、ケアマネージャー等、医師、従業員の接遇の向上	1
移動サービスの充実(タクシー代補助など)	1
年金受給額と生活保護費の差の撤廃	1
高齢の方は、シルバーセンターに加入し、出来る何かを見つけてもらい、市内に住む人に沢山利用してもらおう	1
介助者目線のサービスがほしい	1
介護福祉は充実すべきと思わない	1

過去の調査と比較すると、今回新しく設定された選択肢は回答率が10%以下でした。その他の選択肢はいずれも大きな変化は見られません。

	特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設福祉サービスの充実	高齢の方の健康づくり・介護予防策の充実	ホームヘルパーやデイサービスなどの在宅福祉サービスの充実	認知症高齢者や寝たきり高齢者への対策の充実	高齢の方の生きがいづくりにつながる取組みの充実	高齢の方が外出しやすいバリアフリーの推進	成年後見制度等の取組みの充実
今回(R2)	34.0	33.1	32.3	27.5	27.1	14.1	2.4
前回(H27)	35.3	33.8	33.2	30.9	26.8	16.0	-
前々回(H22)	33.5	32.0	34.6	30.1	32.9	15.9	-

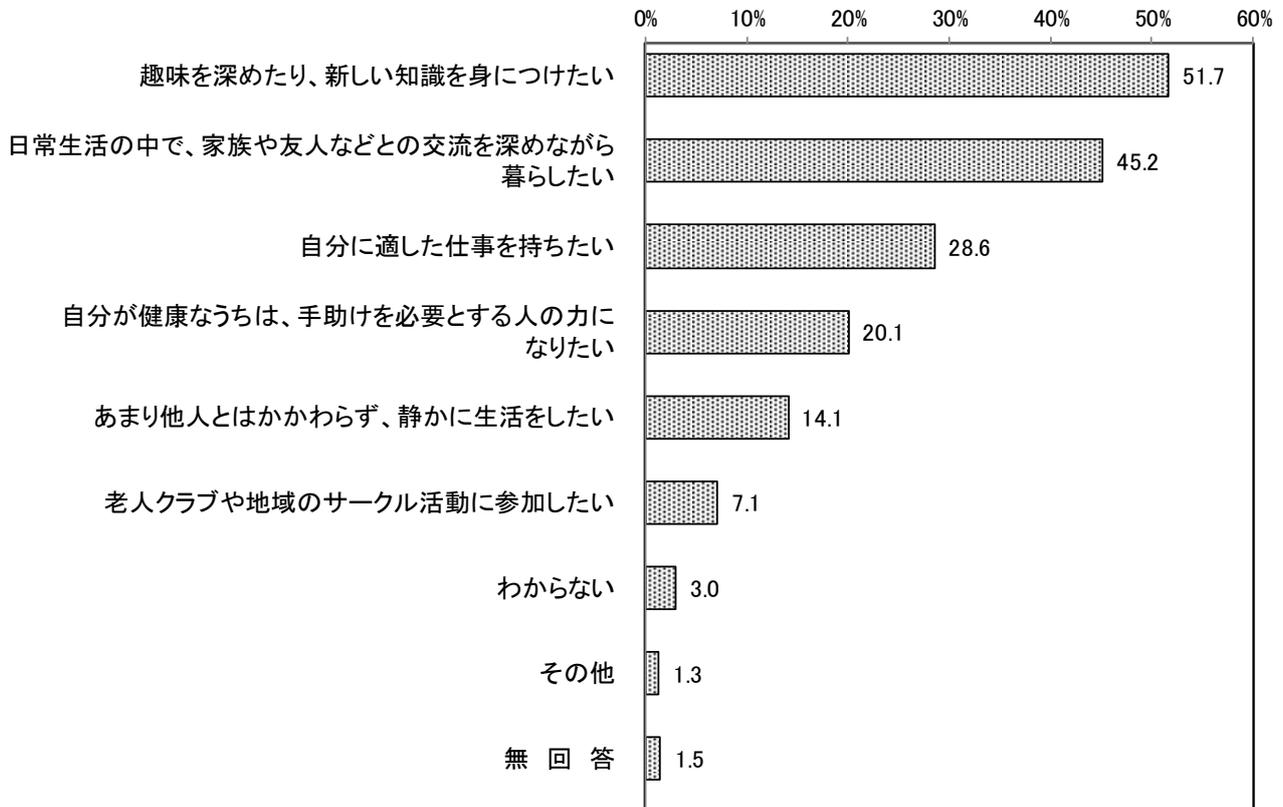
性・年代別で見ると、女性30歳代で「ホームヘルパーやデイサービスなどの在宅福祉サービスの充実」(48.6%)が全体より高くなっています。

		問24 市に力を入れてほしい高齢者福祉に関する取組み										
		n	特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設福祉サービスの充実	高齢の方の健康づくり・介護予防策の充実	ホームヘルパーやデイサービスなどの在宅福祉サービスの充実	認知症高齢者や寝たきり高齢者への対策の充実	高齢の方の生きがいづくりにつながる取組みの充実	高齢の方が外出しやすいバリアフリーの推進	成年後見制度等の取組みの充実	特にな	その他	わからない
全体		538	34.0	33.1	32.3	27.5	27.1	14.1	2.4	1.9	1.1	4.5
性別	男	210	33.8	35.7	30.5	21.0	28.1	13.3	1.4	4.3	0.5	5.2
	女	315	34.3	30.8	34.0	32.7	26.3	14.9	2.5	0.0	1.6	4.1
性・年代別	男・20歳未満	2	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	☆ 50.0	■ 0.0	0.0	0.0	0.0	☆ 50.0
	男・20歳代	17	● 17.6	23.5	23.5	29.4	17.6	○ 29.4	0.0	11.8	0.0	5.9
	男・30歳代	22	36.4	36.4	27.3	22.7	18.2	18.2	0.0	4.5	4.5	9.1
	男・40歳代	49	28.6	30.6	38.8	20.4	30.6	■ 4.1	2.0	2.0	0.0	12.2
	男・50歳代	31	41.9	25.8	■ 19.4	35.5	29.0	19.4	0.0	9.7	0.0	0.0
	男・60歳代	40	40.0	□ 45.0	40.0	■ 17.5	27.5	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男・70歳以上	49	34.7	□ 44.9	26.5	● 12.2	32.7	14.3	4.1	4.1	0.0	2.0
	女・20歳未満	3	33.3	★ 0.0	★ 0.0	☆ 66.7	33.3	○ 33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	女・20歳代	21	38.1	28.6	28.6	23.8	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3
	女・30歳代	35	28.6	42.9	○ 48.6	● 11.4	34.3	14.3	0.0	0.0	0.0	8.6
	女・40歳代	62	24.2	32.3	29.0	35.5	33.9	8.1	4.8	0.0	4.8	4.8
	女・50歳代	73	35.6	28.8	39.7	□ 41.1	20.5	12.3	4.1	0.0	2.7	2.7
	女・60歳代	60	36.7	30.0	28.3	35.0	28.3	21.7	3.3	0.0	0.0	0.0
女・70歳以上	61	42.6	27.9	32.8	31.1	18.0	18.0	0.0	0.0	0.0	3.3	

(2) 老後の暮らし方

全体では、「趣味を深めたり、新しい知識を身につけたい」が51.7%、次いで「日常生活の中で、家族や友人などとの交流を深めながら暮らしたい」(45.2%)、「自分に適した仕事を持ちたい」(28.6%)となっています。

問25 老後の暮らし方[%・複数回答]
全体(n=538)



「その他」の回答内容	件数
年齢にかかわらず、自立した生活を送りたい	1
90歳でも普通に歩ける筋力を培う努力を継続したい	1
若者の成長の役に立てるような立場でありたい	1
夫婦でのんびり過ごしたい	1
御近所様を大切にしたい	1
その他	2

性別で見ると、男性で「日常生活の中で、家族や友人などとの交流を深めながら暮らしたい」(33.3%)が全体よりやや低くなっています。

性・年代別で見ると、男性40歳代で「自分に適した仕事を持ちたい」(49.0%)が全体よりとても高くなっています。

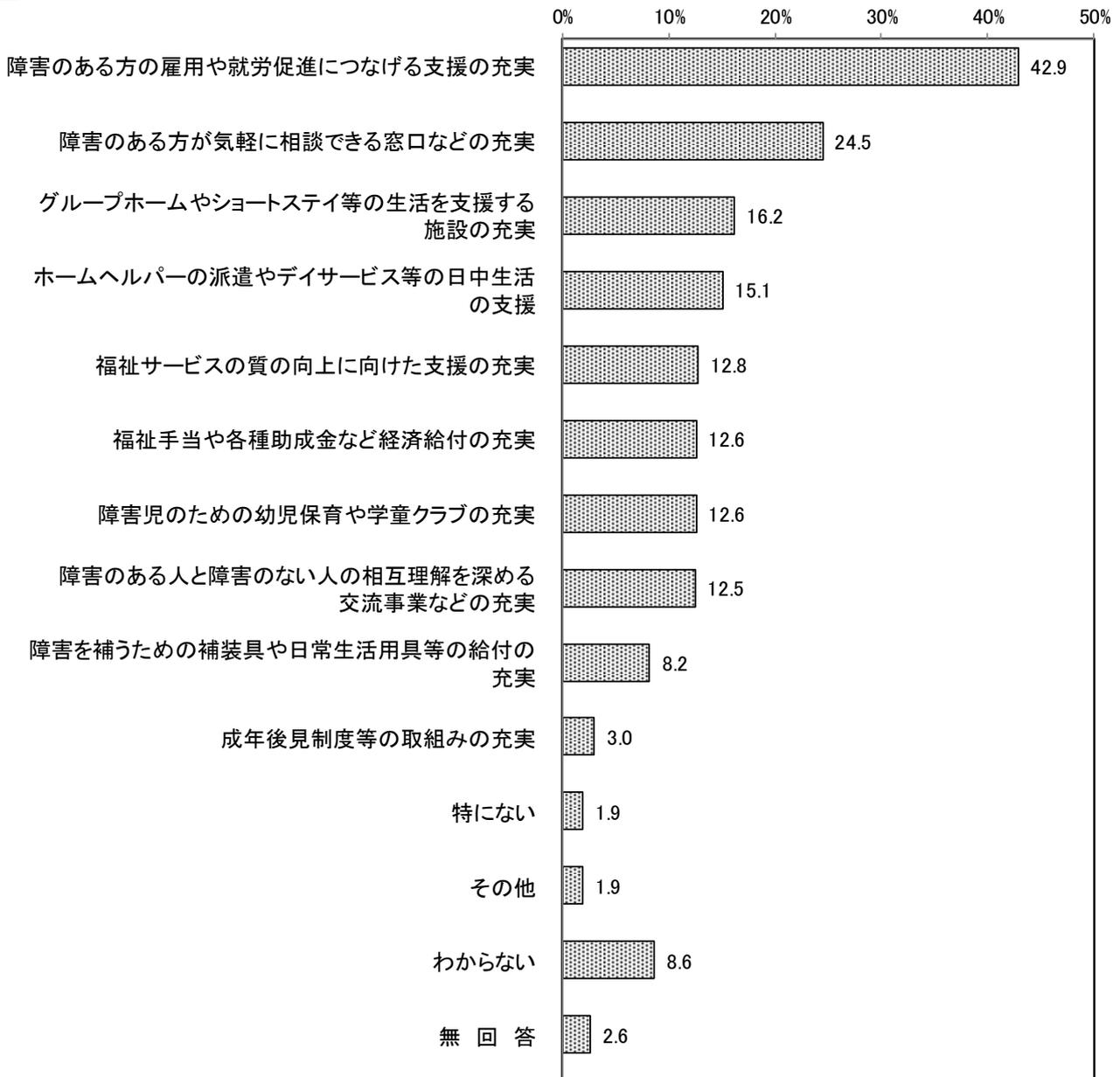
		n	問25 老後の暮らし方								
			趣味を深めたり、新しい知識を身につけたい	日常生活の中で、家族や友人などとの交流を深めながら暮らしたい	自分に適した仕事を持ちたい	自分が健康なうちは、手助けを必要とする人の力になりたい	あまり他人とはかかわらず、静かに生活したい	老人クラブや地域のサークル活動に参加したい	その他	わからない	無回答
全体		538	51.7	45.2	28.6	20.1	14.1	7.1	1.3	3.0	1.5
性別	男	210	55.2	■ 33.3	37.6	13.8	18.1	6.2	2.4	3.3	1.4
	女	315	48.6	53.0	22.2	24.8	11.4	7.9	0.6	2.9	1.3
性・年代別	男・20歳未満	2	50.0	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	■ 0.0	0.0	0.0	☆ 50.0	0.0
	男・20歳代	17	○ 70.6	35.3	23.5	11.8	11.8	0.0	5.9	0.0	5.9
	男・30歳代	22	☆ 72.7	★ 4.5	☆ 50.0	13.6	22.7	4.5	9.1	0.0	0.0
	男・40歳代	49	● 36.7	46.9	☆ 49.0	12.2	8.2	4.1	2.0	6.1	2.0
	男・50歳代	31	○ 67.7	● 29.0	□ 38.7	■ 6.5	19.4	6.5	0.0	3.2	0.0
	男・60歳代	40	42.5	40.0	○ 45.0	25.0	22.5	10.0	0.0	0.0	0.0
	男・70歳以上	49	□ 63.3	■ 30.6	20.4	12.2	□ 24.5	8.2	2.0	4.1	2.0
	女・20歳未満	3	○ 66.7	☆ 100.0	★ 0.0	□ 33.3	■ 0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女・20歳代	21	47.6	☆ 66.7	28.6	14.3	■ 0.0	14.3	0.0	4.8	0.0
	女・30歳代	35	54.3	54.3	31.4	28.6	■ 2.9	8.6	0.0	0.0	0.0
	女・40歳代	62	48.4	48.4	29.0	17.7	11.3	8.1	0.0	4.8	3.2
	女・50歳代	73	58.9	43.8	20.5	23.3	15.1	5.5	1.4	2.7	1.4
	女・60歳代	60	55.0	51.7	23.3	28.3	15.0	5.0	0.0	1.7	0.0
	女・70歳以上	61	★ 26.2	○ 62.3	● 9.8	□ 31.1	13.1	11.5	1.6	3.3	1.6

11. 障害者福祉

(1) 今後必要な障害者福祉に関する取組み

全体では、「障害のある方の雇用や就労促進につなげる支援の充実」が 42.9%、次いで「障害のある方が気軽に相談できる窓口などの充実」(24.5%)、「グループホームやショートステイ等の生活を支援する施設の充実」(16.2%) となっています。

問26 今後必要な障害者福祉に関する取組み[%・複数回答]
全体(n=538)



「その他」の回答内容	件数
障害のある方についての理解が深まるような取組み	2
障害によって必要な支援は様々なので、柔軟に丁寧に本当に助けになる体制づくり	2
障害者が自立して生活できるような支援	1
障害者、健常者が共生しやすい環境づくり	1
障害者が不満に思ってる事に対応してほしい。健常者への罰則を設けて欲しい	1
卒業後も利用できるような放課後等デイサービスみたいな施設	1
その他	2

上位 10 項目について過去の調査と比較すると、今回新しく設定された選択肢（「成年後見制度等の取組みの充実」）は回答率が 10%以下でした。その他の選択肢は、いずれも大きな変化は見られません。

	障害のある方の雇用や就労促進につなげる支援の充実	障害のある方が気軽に相談できる窓口などの充実	グループホームやショートステイ等の生活を支援する施設の充実	ホームヘルパーの派遣やデイサービス等の日中生活の支援	福祉サービスの質の向上に向けた支援の充実	福祉手当や各種助成金など経済給付の充実	障害児のための幼児保育や学童クラブの充実	障害のある人と障害のない人の相互理解を深める交流事業などの充実	障害を補うための補装具や日常生活用具等の給付の充実	成年後見制度等の取組みの充実
今回(R2)	42.9	24.5	16.2	15.1	12.8	12.6	12.6	12.5	8.2	3.0
前回(H27)	39.6	25.3	17.8	15.8	15.6	18.9	13.3	12.7	8.9	-
前々回(H22)	37.9	27.9	17.4	17.9	15.7	18.3	9.1	14.4	7.4	-

上位 10 項目について、属性別にまとめたものが以下の表です。

性・年代別で見ると、女性 70 歳以上で「障害のある方の雇用や就労促進につなげる支援の充実」(26.2%) が全体より低くなっています。

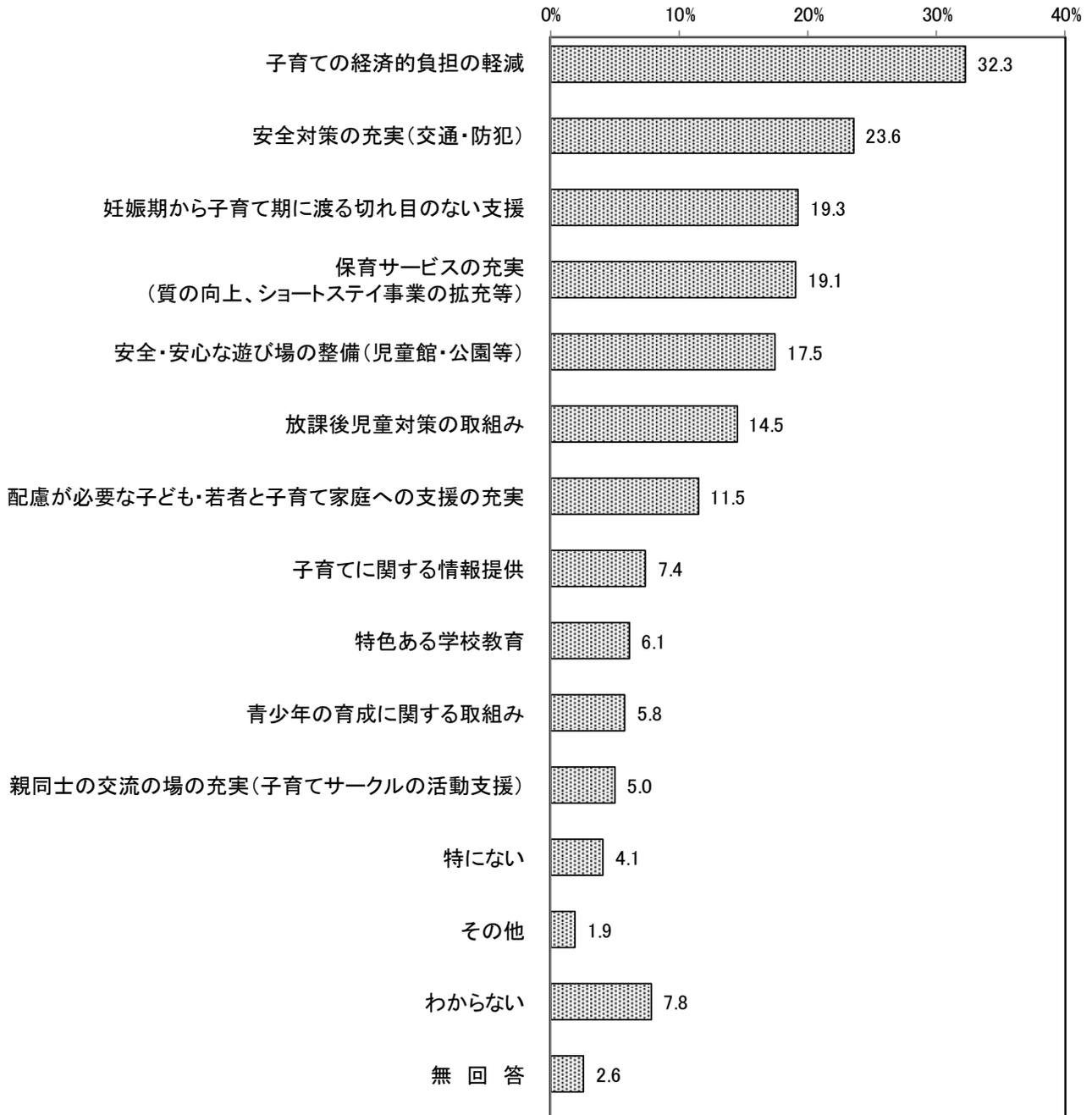
	n	問26 今後必要な障害者福祉に関する取組み									
		障害のある方の雇用や就労促進につなげる支援の充実	障害のある方が気軽に相談できる窓口などの充実	グループホームやショートステイ等の生活を支援する施設の充実	ホームヘルパーの派遣やデイサービス等の日中生活の支援	福祉サービスの質の向上に向けた支援の充実	福祉手当や各種助成金など経済給付の充実	障害児のための幼児保育や学童クラブの充実	障害のある人と障害のない人の相互理解を深める交流事業などの充実	障害を補うための補装具や日常生活用具等の給付の充実	成年後見制度等の取組みの充実
全体	538	42.9	24.5	16.2	15.1	12.8	12.6	12.6	12.5	8.2	3.0
性別											
男	210	44.3	23.3	12.4	16.2	13.3	13.3	11.4	13.3	9.5	2.9
女	315	42.5	24.8	18.4	14.0	12.7	12.1	13.3	12.4	7.6	2.5
性・年代別											
男・20歳未満	2	★ 0.0	★ 0.0	● 0.0	● 0.0	■ 0.0	■ 0.0	■ 0.0	■ 0.0	0.0	0.0
男・20歳代	17	■ 29.4	23.5	11.8	5.9	11.8	○ 29.4	5.9	11.8	11.8	5.9
男・30歳代	22	☆ 72.7	■ 13.6	13.6	18.2	4.5	9.1	□ 22.7	13.6	9.1	0.0
男・40歳代	49	44.9	■ 14.3	22.4	18.4	8.2	14.3	14.3	16.3	6.1	0.0
男・50歳代	31	41.9	32.3	9.7	□ 25.8	9.7	12.9	12.9	16.1	6.5	6.5
男・60歳代	40	45.0	□ 37.5	12.5	7.5	22.5	15.0	■ 2.5	7.5	10.0	0.0
男・70歳以上	49	38.8	20.4	■ 4.1	18.4	18.4	8.2	12.2	14.3	14.3	6.1
女・20歳未満	3	☆ 66.7	33.3	○ 33.3	● 0.0	■ 0.0	■ 0.0	■ 0.0	☆ 66.7	0.0	0.0
女・20歳代	21	□ 57.1	19.0	● 0.0	14.3	9.5	14.3	□ 23.8	14.3	9.5	0.0
女・30歳代	35	45.7	25.7	20.0	■ 2.9	8.6	5.7	□ 25.7	14.3	8.6	5.7
女・40歳代	62	50.0	17.7	22.6	16.1	11.3	9.7	16.1	6.5	6.5	3.2
女・50歳代	73	49.3	26.0	21.9	15.1	12.3	9.6	9.6	13.7	9.6	2.7
女・60歳代	60	35.0	23.3	13.3	16.7	15.0	16.7	11.7	11.7	8.3	0.0
女・70歳以上	61	● 26.2	32.8	19.7	14.8	16.4	16.4	6.6	13.1	4.9	3.3

12. 子育て支援

(1) 今後必要な子育て支援に関する取組み

全体では、「子育ての経済的負担の軽減」が 32.3%、次いで「安全対策の充実（交通・防犯）」（23.6%）、「妊娠期から子育て期に渡る切れ目のない支援」（19.3%）となっています。

問27 今後必要な子育て支援に関する取組み[%・複数回答]
全体(n=538)



「その他」の回答内容	件数
学童保育のあり方・実状を見直してほしい、学童を小学校の敷地内に配置	2
親身になって相談してもらえる窓口	1
ベビーカー、歩きで移動しやすい道の整備	1
ひとり親への支援、支援員の強化	1
地域のPTA役員の負担軽減	1
保育園の充実	1
不妊治療費用	1
少人数制の導入	1
甘やかしすぎない(親)支援	1

上位 10 項目について、属性別にまとめたものが以下の表です。

性・年代別で見ると、女性 30 歳代で「子育ての経済的負担の軽減」(48.6%) が全体より高くなっています。女性 60 歳代で「子育ての経済的負担の軽減」(10.0%) が全体よりとても低くなっています。

居住区で見ると、栄町で「安全対策の充実(交通・防犯)」(11.9%) が全体よりやや低くなっています。

居住年数で見ると、3 年未満で「妊娠期から子育て期に渡る切れ目のない支援」(36.7%) が全体より高くなっています。

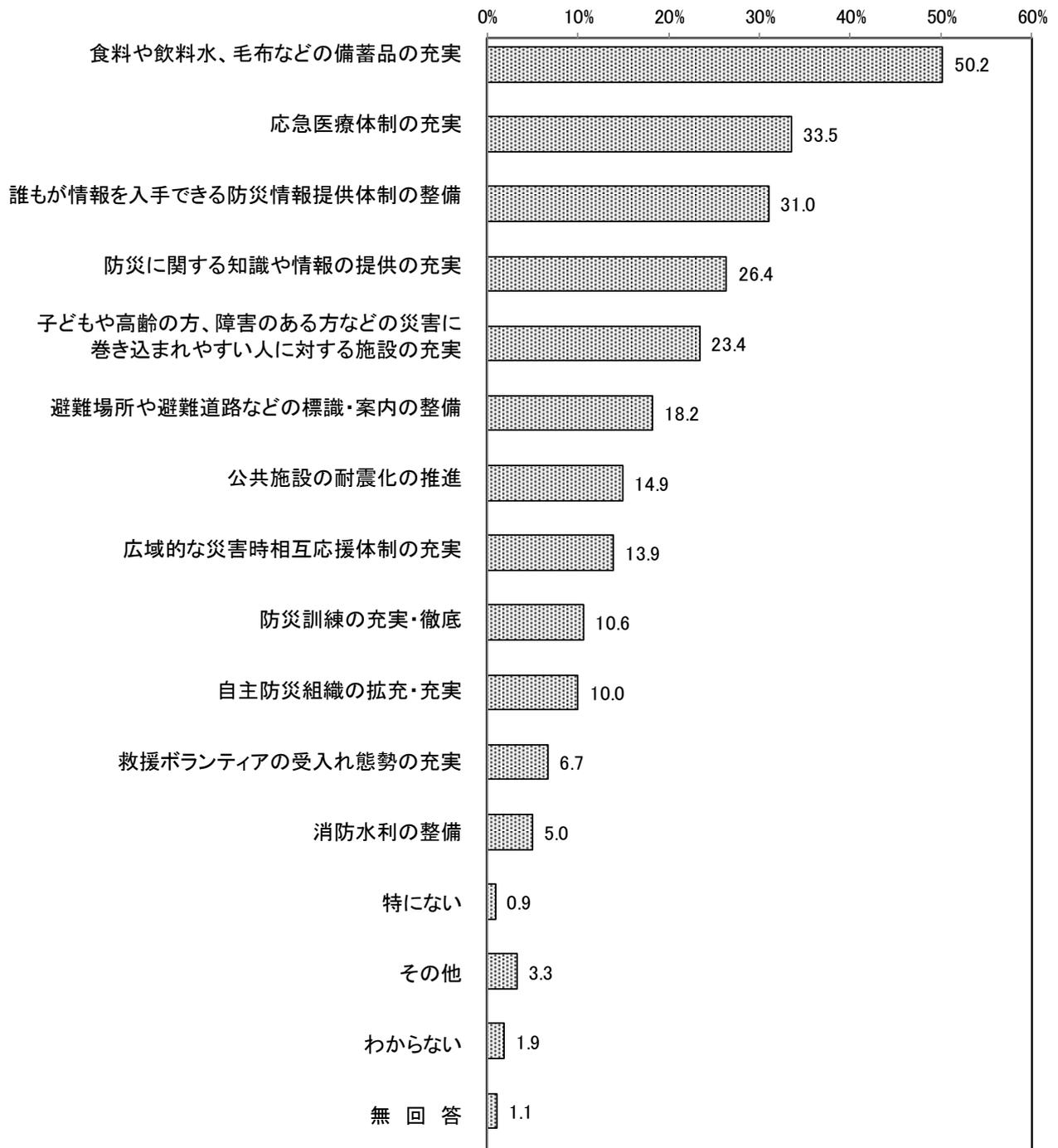
		n	問27 今後必要な子育て支援に関する取組み									
			子育ての経済的負担の軽減	安全対策の充実(交通・防犯)	妊娠から子育て期に渡る切れ目のない支援	保育サービスの充実(質の向上、ショートステイ事業の拡充等)	安全・安心な遊び場の整備(児童館・公園等)	放課後児童対策の取組み	配慮が必要な子ども・若者と子育て家庭への支援の充実	子育てに関する情報提供	特色ある学校教育	青少年の育成に関する取組み
全体		538	32.3	23.6	19.3	19.1	17.5	14.5	11.5	7.4	6.1	5.8
性別	男	210	40.0	18.6	22.4	14.8	18.6	11.4	7.6	8.6	8.1	7.6
	女	315	27.3	27.0	17.5	20.6	17.1	16.2	14.3	6.3	5.1	4.8
性・年代別	男・20歳未満	2	★ 0.0	★ 0.0	● 0.0	● 0.0	● 0.0	■ 0.0	■ 0.0	0.0	0.0	☆ 50.0
	男・20歳代	17	35.3	● 5.9	☆ 41.2	11.8	■ 5.9	5.9	■ 0.0	□ 17.6	11.8	0.0
	男・30歳代	22	○ 50.0	27.3	27.3	■ 4.5	□ 31.8	9.1	9.1	13.6	4.5	0.0
	男・40歳代	49	○ 49.0	22.4	20.4	■ 8.2	24.5	8.2	16.3	10.2	8.2	6.1
	男・50歳代	31	38.7	16.1	22.6	19.4	22.6	12.9	3.2	6.5	□ 16.1	□ 16.1
	男・60歳代	40	32.5	27.5	12.5	25.0	10.0	15.0	10.0	2.5	7.5	5.0
	男・70歳以上	49	36.7	■ 10.2	24.5	16.3	16.3	14.3	2.0	8.2	4.1	10.2
	女・20歳未満	3	★ 0.0	★ 0.0	□ 33.3	□ 33.3	○ 33.3	■ 0.0	☆ 33.3	0.0	0.0	☆ 33.3
	女・20歳代	21	☆ 57.1	19.0	☆ 42.9	14.3	■ 4.8	■ 0.0	14.3	4.8	4.8	0.0
	女・30歳代	35	○ 48.6	31.4	28.6	■ 8.6	20.0	11.4	5.7	5.7	8.6	2.9
	女・40歳代	62	30.6	30.6	12.9	24.2	14.5	17.7	11.3	6.5	3.2	1.6
	女・50歳代	73	26.0	□ 37.0	15.1	19.2	20.5	17.8	20.5	6.8	5.5	5.5
	女・60歳代	60	★ 10.0	21.7	18.3	25.0	16.7	18.3	20.0	10.0	1.7	5.0
	女・70歳以上	61	■ 21.3	18.0	■ 8.2	23.0	18.0	19.7	8.2	3.3	8.2	8.2
居住地区	神明台	78	28.2	17.9	16.7	21.8	19.2	14.1	17.9	5.1	9.0	9.0
	双葉町	26	□ 46.2	15.4	26.9	11.5	11.5	15.4	7.7	11.5	3.8	0.0
	五ノ神	39	35.9	17.9	25.6	12.8	15.4	15.4	7.7	7.7	12.8	2.6
	富士見平・羽4000番台	39	25.6	23.1	■ 7.7	12.8	10.3	12.8	10.3	10.3	5.1	7.7
	緑ヶ丘	73	31.5	32.9	11.0	21.9	19.2	17.8	8.2	4.1	2.7	5.5
	栄町	42	33.3	■ 11.9	26.2	26.2	14.3	16.7	14.3	4.8	7.1	7.1
	小作台	62	25.8	30.6	27.4	17.7	19.4	11.3	11.3	9.7	4.8	3.2
	羽西	20	30.0	30.0	○ 35.0	10.0	15.0	10.0	5.0	15.0	5.0	5.0
	羽加美	45	31.1	26.7	20.0	22.2	8.9	22.2	13.3	11.1	6.7	8.9
	羽中	38	36.8	21.1	15.8	15.8	23.7	7.9	7.9	13.2	7.9	0.0
	羽東	27	□ 44.4	22.2	22.2	22.2	□ 29.6	11.1	18.5	0.0	7.4	7.4
	川崎	23	○ 47.8	30.4	17.4	17.4	21.7	8.7	8.7	4.3	0.0	13.0
玉川・羽600～700番台	12	33.3	25.0	16.7	16.7	25.0	16.7	8.3	8.3	8.3	0.0	
居住年数	3年未満	30	□ 46.7	■ 13.3	○ 36.7	13.3	16.7	6.7	3.3	16.7	3.3	3.3
	3年以上5年未満	17	41.2	○ 41.2	11.8	11.8	11.8	17.6	11.8	11.8	0.0	11.8
	5年以上10年未満	54	29.6	22.2	□ 31.5	14.8	18.5	9.3	5.6	9.3	7.4	3.7
	10年以上20年未満	92	25.0	29.3	17.4	16.3	19.6	9.8	16.3	7.6	10.9	5.4
	20年以上	339	33.3	22.1	17.1	20.9	17.1	17.1	12.1	6.2	5.3	6.2
定住意向	ずっと住み続けたい	270	30.0	23.0	19.3	22.6	15.9	16.3	13.0	5.6	5.6	6.7
	当分の間住みたい	220	37.3	25.0	20.0	15.0	20.0	11.8	9.1	10.5	7.3	4.5
	できれば転出したい	29	24.1	20.7	■ 6.9	17.2	13.8	17.2	□ 24.1	3.4	6.9	0.0
	転出する	7	□ 42.9	14.3	☆ 42.9	14.3	14.3	■ 0.0	■ 0.0	14.3	0.0	14.3

13. 防災・防犯対策

(1) 防災対策で重点をおいて進めるべきもの

全体では、「食料や飲料水、毛布などの備蓄品の充実」が50.2%、次いで「応急医療体制の充実」(33.5%)、「誰もが情報を入手できる防災情報提供体制の整備」(31.0%)となっています。

問28 防災対策で重点をおいて進めるべきもの[%・複数回答]
全体(n=538)



「その他」の回答内容	件数
避難場所等の整備	4
防災無線等、緊急時通報の見直し	3
市民一人一人の意識の向上	3
河川の整備	1
その他	7

上位 10 項目について、属性別にまとめたものが以下の表です。

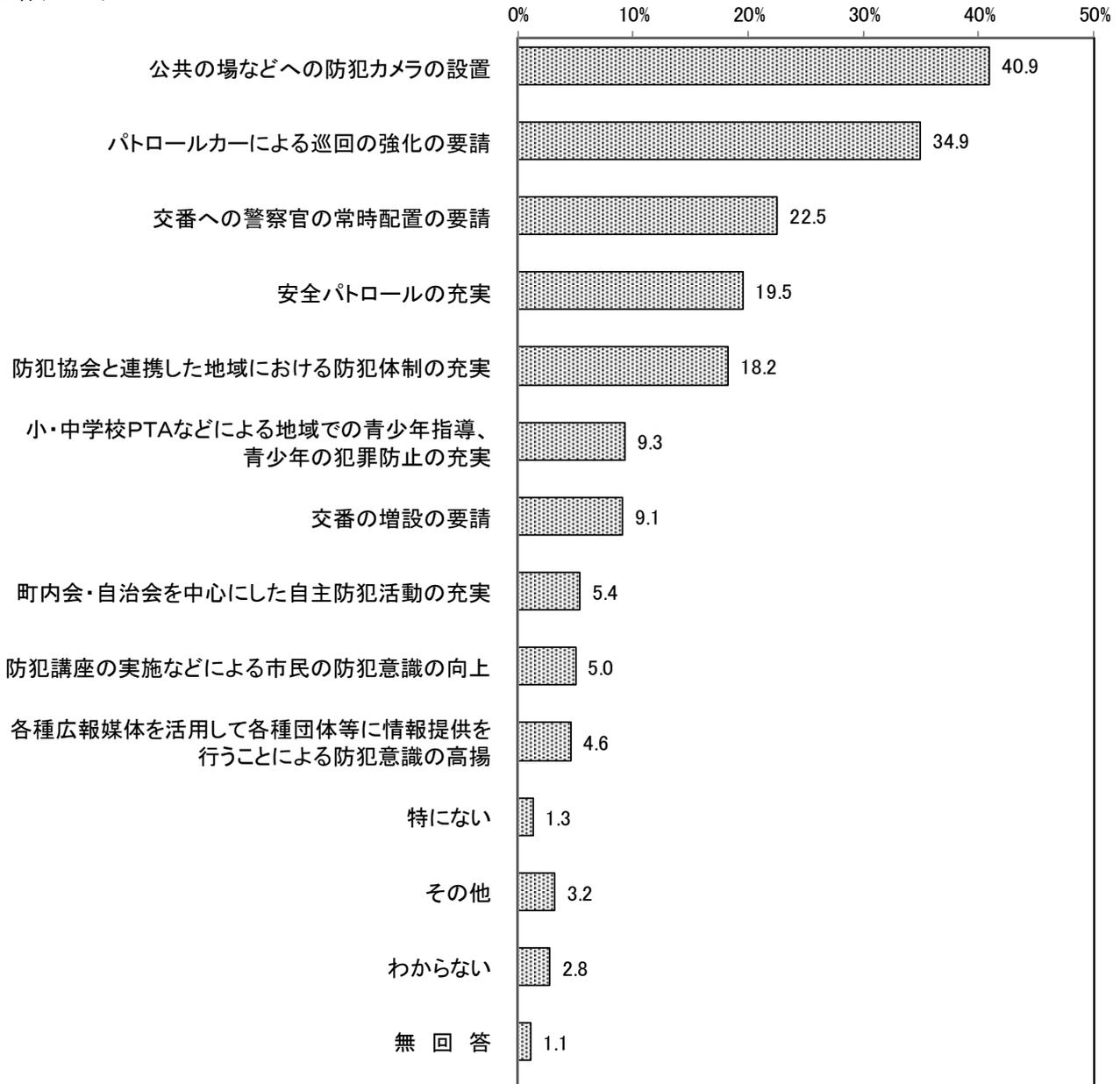
性・年代別で見ると、男性 50 歳代で「食料や飲料水、毛布などの備蓄品の充実」(67.7%)が全体より高くなっています。

		問28 防災対策で重点をおいて進めるべきもの										
		n	食料や飲料水、毛布などの備蓄品の充実	応急医療体制の充実	誰もが情報を入手できる防災情報提供体制の整備	防災に関する知識や情報の提供の充実	子どもや高齢の方、障害のある方などの災害に巻き込まれやすい人に対する施設の充実	避難場所や避難道路などの標識・案内の整備	公共施設の耐震化の推進	広域的な災害時相互応援体制の充実	防災訓練の充実・徹底	自主防災組織の拡充・充実
全体		538	50.2	33.5	31.0	26.4	23.4	18.2	14.9	13.9	10.6	10.0
性別	男	210	51.4	37.1	25.2	26.2	20.5	16.2	17.1	15.2	11.0	10.0
	女	315	49.2	30.8	35.6	26.7	25.4	19.4	13.7	13.0	10.2	9.2
性・年代別	男・20歳未満	2	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	● 0.0	☆ 50.0	■ 0.0	☆ 50.0	■ 0.0
	男・20歳代	17	■ 35.3	★ 11.8	● 11.8	□ 41.2	17.6	23.5	5.9	11.8	□ 23.5	17.6
	男・30歳代	22	○ 68.2	☆ 59.1	● 13.6	■ 13.6	■ 9.1	13.6	13.6	9.1	■ 0.0	4.5
	男・40歳代	49	□ 63.3	□ 46.9	34.7	22.4	26.5	■ 6.1	10.2	20.4	10.2	8.2
	男・50歳代	31	○ 67.7	38.7	■ 19.4	32.3	22.6	19.4	22.6	22.6	3.2	3.2
	男・60歳代	40	42.5	42.5	40.0	32.5	17.5	25.0	20.0	10.0	10.0	12.5
	男・70歳以上	49	■ 36.7	■ 22.4	■ 18.4	22.4	22.4	16.3	22.4	14.3	16.3	14.3
	女・20歳未満	3	● 33.3	33.3	33.3	33.3	★ 0.0	○ 33.3	○ 33.3	■ 0.0	☆ 33.3	☆ 33.3
	女・20歳代	21	○ 66.7	28.6	28.6	28.6	■ 9.5	○ 33.3	9.5	14.3	4.8	9.5
	女・30歳代	35	60.0	34.3	28.6	25.7	28.6	20.0	○ 31.4	8.6	5.7	5.7
	女・40歳代	62	41.9	27.4	33.9	24.2	21.0	19.4	12.9	12.9	8.1	9.7
	女・50歳代	73	47.9	○ 50.7	□ 45.2	28.8	21.9	13.7	13.7	16.4	5.5	5.5
	女・60歳代	60	46.7	■ 23.3	40.0	31.7	31.7	11.7	13.3	13.3	18.3	10.0
	女・70歳以上	61	49.2	● 16.4	27.9	21.3	32.8	27.9	■ 4.9	11.5	13.1	13.1

(2)防犯対策で重点をおいて進めるべきもの

全体では、「公共の場などへの防犯カメラの設置」が40.9%、次いで「パトロールカーによる巡回の強化の要請」(34.9%)、「交番への警察官の常時配置の要請」(22.5%)となっています。

問29 防犯対策で重点をおいて進めるべきもの〔%・複数回答〕
全体(n=538)



「その他」の回答内容	件数
市内全体に防犯カメラの設置の充実	4
暗い道に街灯の設置をしてほしい	4
警備員の配置(シニアで可)見回り	1
街の美化・美観向上	1
市内で日々どのような犯罪が発生しているか知りたい	1
マナーの悪い自転車走行の取り締まり	1
市の放送が聞こえにくい	1
近隣住民同士が声かけ(あいさつ等々)をしても大丈夫な雰囲気づくり	1
その他	3

上位 10 項目について、属性別にまとめたものが以下の表です。

性・年代別で見ると、女性 30 歳代で「公共の場などへの防犯カメラの設置」(62.9%) が全体よりとても高くなっています。

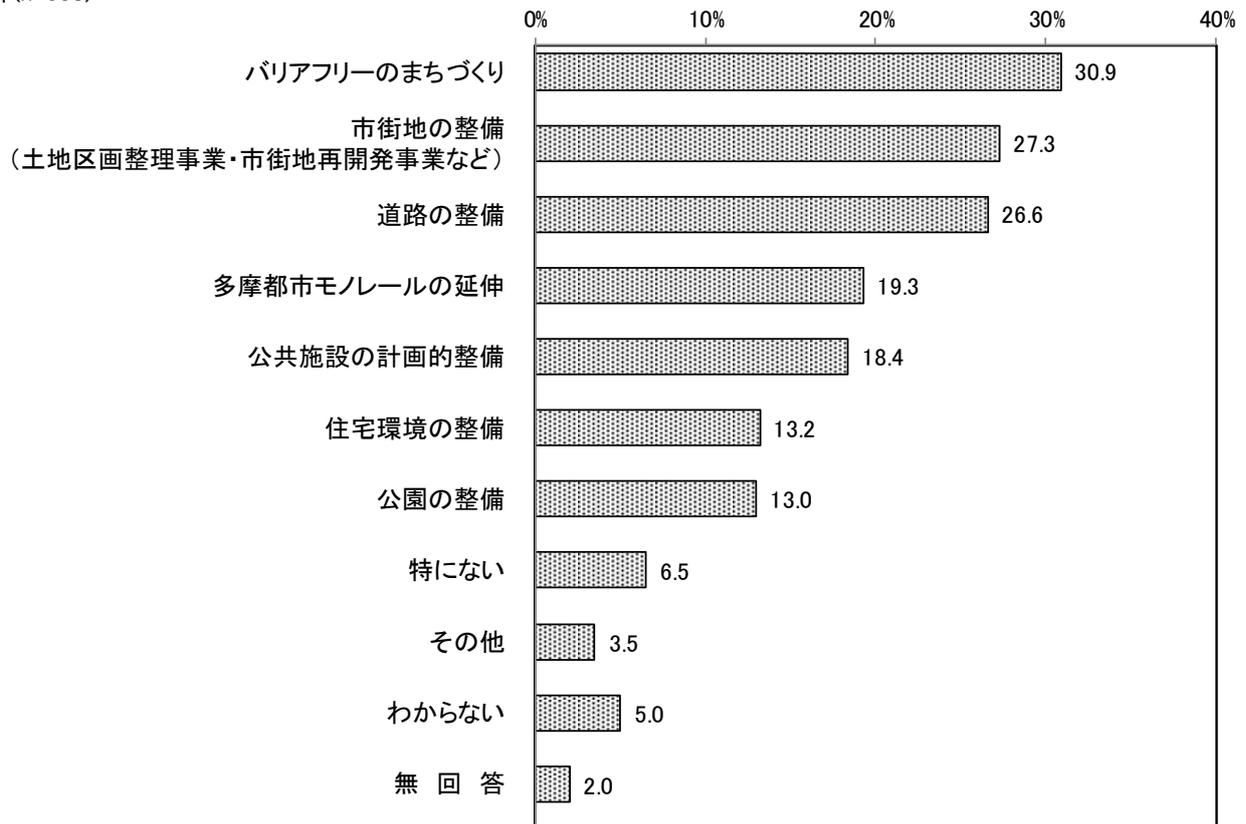
		問29 防犯対策で重点をおいて進めるべきもの										
		n	公共の場などへの防犯カメラの設置	パトロールカーによる巡回の強化の要請	交番への警察官の常時配置の要請	安全パトロールの充実	防犯協会と連携した地域における防犯体制の充実	小・中学校PTAなどによる地域での青少年指導、青少年の犯罪防止の充実	交番の増設の要請	町内会・自治会を中心とした自主防犯活動の充実	防犯講座の実施などによる市民の防犯意識の向上	各種広報媒体を活用して各種団体等に情報提供を行うことによる防犯意識の高揚
全体		538	40.9	34.9	22.5	19.5	18.2	9.3	9.1	5.4	5.0	4.6
性別	男	210	38.1	38.6	19.5	21.9	19.0	10.0	7.1	7.6	4.8	6.2
	女	315	43.2	32.4	24.4	18.1	17.1	9.2	10.2	3.2	5.4	3.5
性・年代別	男・20歳未満	2	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	● 0.0	● 0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男・20歳代	17	35.3	29.4	■ 11.8	17.6	● 0.0	□ 23.5	5.9	0.0	11.8	5.9
	男・30歳代	22	45.5	31.8	31.8	13.6	22.7	13.6	13.6	0.0	0.0	4.5
	男・40歳代	49	49.0	40.8	■ 10.2	14.3	22.4	12.2	6.1	12.2	4.1	8.2
	男・50歳代	31	38.7	○ 51.6	25.8	19.4	19.4	3.2	16.1	3.2	3.2	3.2
	男・60歳代	40	40.0	40.0	20.0	□ 30.0	22.5	7.5	2.5	2.5	7.5	5.0
	男・70歳以上	49	● 24.5	34.7	22.4	□ 30.6	18.4	8.2	4.1	□ 16.3	4.1	8.2
	女・20歳未満	3	33.3	★ 0.0	★ 0.0	□ 33.3	● 0.0	☆ 66.7	0.0	☆ 66.7	0.0	0.0
	女・20歳代	21	33.3	★ 14.3	□ 33.3	■ 9.5	□ 28.6	4.8	9.5	4.8	4.8	0.0
	女・30歳代	35	☆ 62.9	28.6	25.7	28.6	11.4	2.9	17.1	0.0	2.9	2.9
	女・40歳代	62	48.4	27.4	17.7	24.2	16.1	6.5	17.7	0.0	3.2	4.8
	女・50歳代	73	39.7	32.9	26.0	12.3	15.1	12.3	11.0	2.7	5.5	6.8
	女・60歳代	60	43.3	41.7	23.3	10.0	16.7	10.0	6.7	3.3	8.3	1.7
	女・70歳以上	61	34.4	37.7	27.9	23.0	21.3	9.8	1.6	4.9	6.6	1.6

14. 都市基盤

(1) 市の都市基盤整備に望むこと

全体では、「バリアフリーのまちづくり」が30.9%、次いで「市街地の整備（土地区画整理事業・市街地再開発事業など）」（27.3%）、「道路の整備」（26.6%）となっています。

問30 市の都市基盤整備に望むこと〔%・複数回答〕
全体(n=538)



「その他」の回答内容	件数
羽村駅西口区画整理事業の中止	3
水上公園の整備	2
無電柱・無電線化 街路樹の整備	2
既存インフラの計画的メンテナンス(ストック・マネジメント)の推進	2
歩道・自転車道の整備	2
その他	8

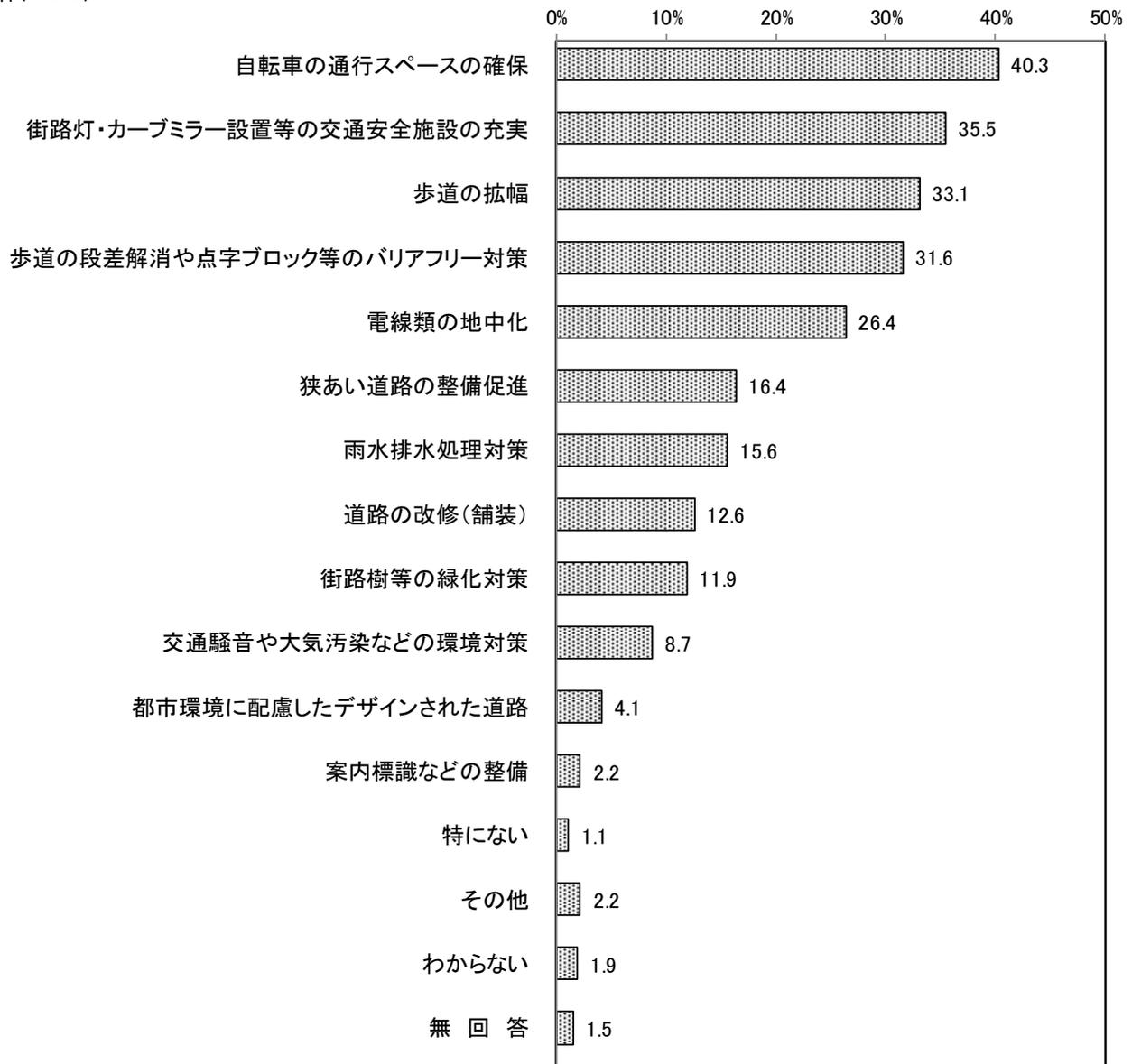
性・年代別で見ると、女性 30 歳代で「多摩都市モノレールの延伸」(8.6%) が全体よりやや低く、「公園の整備」(31.4%) が全体より高くなっています。

		問30 市の都市基盤整備に望むこと										
		n	バリアフリーのまちづくり	市街地の整備(土地区画整理事業・市街地再開発事業など)	道路の整備	多摩都市モノレールの延伸	公共施設の計画的整備	住宅環境の整備	公園の整備	特にない	その他	わからない
全体		538	30.9	27.3	26.6	19.3	18.4	13.2	13.0	6.5	3.5	5.0
性別	男	210	23.8	31.4	27.6	24.3	22.9	12.9	14.8	3.3	4.8	2.9
	女	315	35.6	24.8	26.0	16.2	15.2	13.3	12.1	8.6	2.5	6.3
性・年代別	男・20歳未満	2	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	● 0.0	● 0.0	■ 0.0	■ 0.0	0.0	0.0	☆ 100.0
	男・20歳代	17	□ 41.2	35.3	★ 5.9	□ 29.4	17.6	17.6	5.9	11.8	0.0	5.9
	男・30歳代	22	22.7	36.4	27.3	○ 36.4	13.6	13.6	□ 27.3	0.0	4.5	4.5
	男・40歳代	49	22.4	36.7	26.5	24.5	□ 30.6	12.2	12.2	0.0	4.1	0.0
	男・50歳代	31	25.8	32.3	□ 38.7	19.4	□ 29.0	9.7	6.5	3.2	6.5	3.2
	男・60歳代	40	22.5	25.0	27.5	27.5	17.5	22.5	17.5	2.5	5.0	0.0
	男・70歳以上	49	■ 20.4	28.6	30.6	18.4	22.4	6.1	18.4	6.1	6.1	2.0
	女・20歳未満	3	☆ 100.0	★ 0.0	★ 0.0	□ 33.3	● 0.0	■ 0.0	☆ 33.3	0.0	0.0	0.0
	女・20歳代	21	28.6	○ 42.9	23.8	14.3	9.5	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0
	女・30歳代	35	22.9	34.3	17.1	■ 8.6	25.7	8.6	○ 31.4	11.4	5.7	5.7
	女・40歳代	62	32.3	■ 16.1	19.4	17.7	11.3	9.7	9.7	9.7	4.8	11.3
	女・50歳代	73	35.6	24.7	30.1	12.3	19.2	6.8	11.0	8.2	4.1	9.6
	女・60歳代	60	□ 43.3	31.7	28.3	21.7	13.3	20.0	5.0	1.7	0.0	3.3
	女・70歳以上	61	37.7	■ 16.4	32.8	18.0	13.1	21.3	9.8	11.5	0.0	3.3

(2)市の道路整備で優先すべきもの

全体では、「自転車の通行スペースの確保」が40.3%、次いで「街路灯・カーブミラー設置等の交通安全施設の充実」(35.5%)、「歩道の拡幅」(33.1%)となっています。

問31 市の道路整備で優先すべきもの〔%・複数回答〕
全体(n=538)



「その他」の回答内容	件数
街路樹のイチョウをメンテナンスフリーな樹木に	2
水災害に強いまちづくり	1
自転車通行ゾーンの使用の周知を徹底する	1
学校、幼・保近くのゾーン30の指定	1
カーブミラーのメンテナンス、冬季のミラーの曇り防止	1
旧青梅街道沿いの段差スロープの撤去	1
その他	4

上位 10 項目について、属性別にまとめたものが以下の表です。

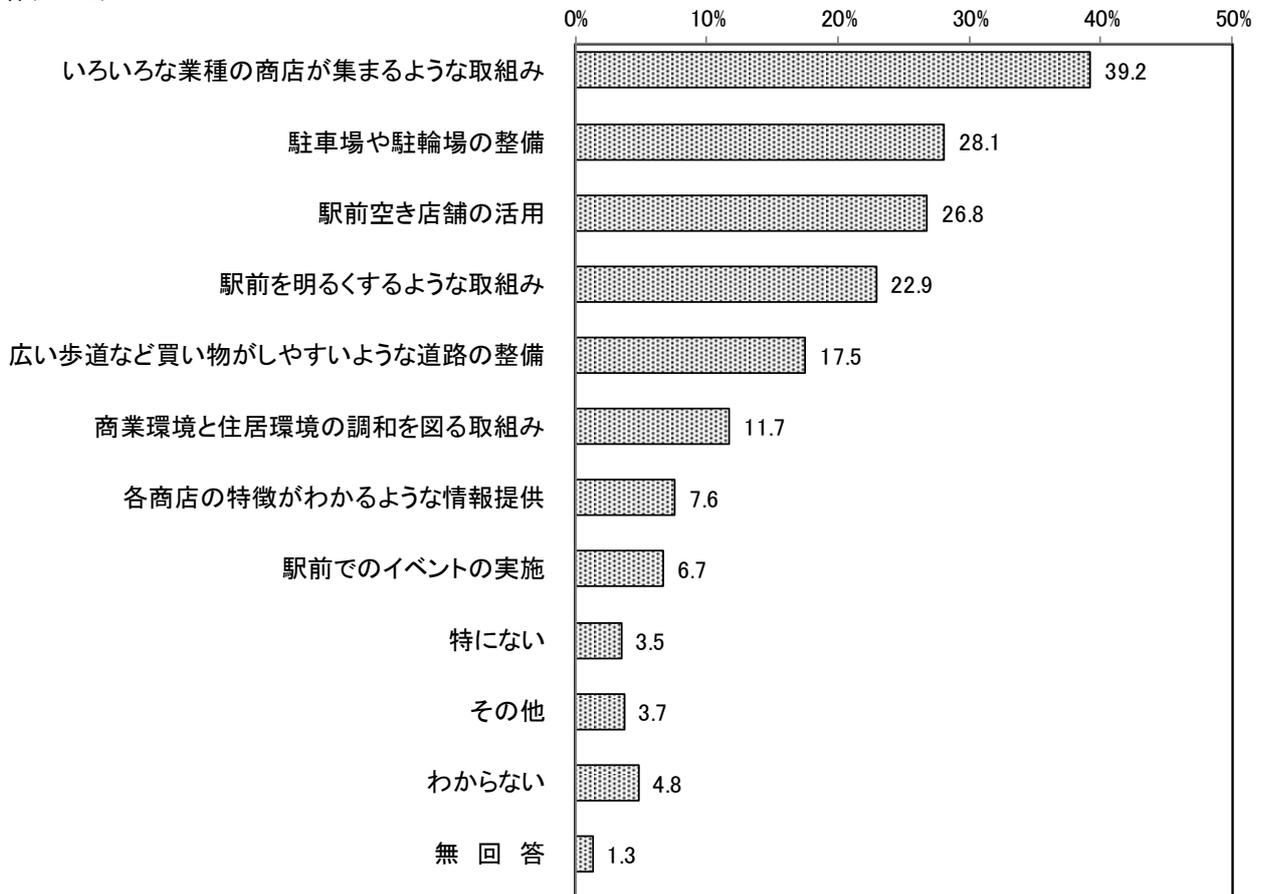
性・年代別で見ると、女性 30 歳代で「電線類の地中化」(2.9%) が全体よりとても低くなっています。

		n	問31 市の道路整備で優先すべきもの									
			自転車の通行スペースの確保	街路灯・カーブミラー設置等の交通安全施設の充実	歩道の拡幅	歩道の段差解消や点字ブロック等のバリアフリー対策	電線類の地中化	狭い道路の整備促進	雨水排水処理対策	道路の改修(舗装)	街路樹等の緑化対策	交通騒音や大気汚染などの環境対策
全体		538	40.3	35.5	33.1	31.6	26.4	16.4	15.6	12.6	11.9	8.7
性別	男	210	38.6	32.9	33.3	24.8	31.4	18.6	13.3	18.1	12.4	9.0
	女	315	41.6	37.5	33.7	36.2	22.9	14.6	16.5	8.6	11.7	8.6
性・年代別	男・20歳未満	2	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	● 0.0	● 0.0	■ 0.0	■ 0.0	0.0
	男・20歳代	17	41.2	29.4	35.3	23.5	■ 11.8	11.8	● 0.0	□ 23.5	17.6	17.6
	男・30歳代	22	○ 59.1	40.9	40.9	★ 9.1	31.8	9.1	■ 4.5	9.1	18.2	9.1
	男・40歳代	49	36.7	32.7	36.7	22.4	□ 36.7	22.4	22.4	22.4	10.2	10.2
	男・50歳代	31	■ 29.0	■ 22.6	25.8	38.7	○ 45.2	22.6	12.9	19.4	9.7	9.7
	男・60歳代	40	35.0	45.0	37.5	32.5	20.0	22.5	15.0	12.5	10.0	10.0
	男・70歳以上	49	40.8	28.6	28.6	■ 20.4	34.7	16.3	12.2	20.4	14.3	4.1
	女・20歳未満	3	☆ 66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	● 0.0	● 0.0	■ 0.0	☆ 33.3	0.0
	女・20歳代	21	□ 52.4	□ 47.6	23.8	33.3	19.0	9.5	14.3	14.3	4.8	9.5
	女・30歳代	35	34.3	37.1	37.1	37.1	★ 2.9	17.1	17.1	11.4	○ 28.6	17.1
	女・40歳代	62	32.3	□ 50.0	35.5	32.3	25.8	14.5	16.1	3.2	6.5	8.1
	女・50歳代	73	42.5	35.6	24.7	37.0	23.3	13.7	17.8	8.2	12.3	11.0
	女・60歳代	60	45.0	36.7	30.0	□ 41.7	33.3	18.3	25.0	13.3	10.0	3.3
	女・70歳以上	61	45.9	■ 24.6	□ 47.5	34.4	21.3	13.1	8.2	6.6	9.8	6.6

(3) まちの活性化のために必要な取組み

全体では、「いろいろな業種の商店が集まるような取組み」が 39.2%、次いで「駐車場や駐輪場の整備」(28.1%)、「駅前空き店舗の活用」(26.8%) となっています。

問32 まちの活性化のために必要な取組み[%・複数回答]
全体(n=538)



「その他」の回答内容	件数
大型店舗(スーパー、ホームセンター)等、魅力的な店舗の誘致	4
駅前周辺商店の充実	3
小作駅前の再開発	2
はむらんの増便	2
歩きやすい歩道の整備・自転車と歩行者の通行分離の採用及び周知徹底	2
その他	7

性・年代別で見ると、男性50歳代で「商業環境と住居環境の調和を図る取組み」(32.3%)が全体よりとても高くなっています。

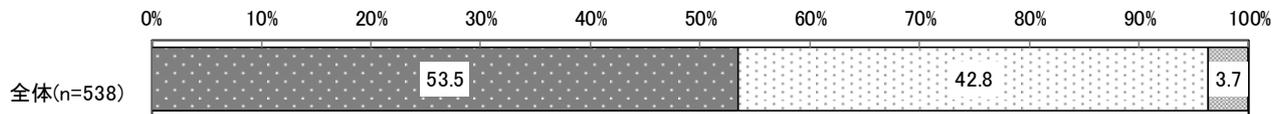
		n	問32 まちの活性化のために必要な取組み									
			いろいろな業種の商店が集まるような取組み	駐車場や駐輪場の整備	駅前空き店舗の活用	駅前を明るくするような取組み	広い歩道など買い物がしやすいような道路の整備	商業環境と住居環境の調和を図る取組み	各商店の特徴がわかるような情報提供	駅前でイベントの実施	特にない	その他
全体		538	39.2	28.1	26.8	22.9	17.5	11.7	7.6	6.7	3.5	3.7
性別	男	210	41.4	28.6	21.9	19.0	19.0	15.2	6.2	8.6	4.3	2.9
	女	315	38.1	27.9	29.5	25.7	16.5	8.6	8.6	5.1	3.2	4.4
性・年代別	男・20歳未満	2	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	● 0.0	■ 0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男・20歳代	17	35.3	23.5	23.5	□ 35.3	11.8	5.9	11.8	0.0	5.9	0.0
	男・30歳代	22	31.8	36.4	36.4	18.2	22.7	18.2	4.5	13.6	0.0	4.5
	男・40歳代	49	44.9	34.7	20.4	20.4	26.5	8.2	6.1	14.3	2.0	0.0
	男・50歳代	31	□ 51.6	29.0	■ 16.1	■ 9.7	12.9	☆ 32.3	6.5	9.7	6.5	3.2
	男・60歳代	40	□ 50.0	35.0	■ 15.0	20.0	15.0	10.0	5.0	2.5	5.0	5.0
	男・70歳以上	49	32.7	■ 16.3	26.5	18.4	20.4	18.4	6.1	8.2	6.1	4.1
	女・20歳未満	3	☆ 66.7	33.3	☆ 66.7	★ 0.0	○ 33.3	■ 0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女・20歳代	21	□ 52.4	33.3	28.6	□ 33.3	14.3	9.5	4.8	9.5	0.0	0.0
	女・30歳代	35	37.1	28.6	34.3	□ 37.1	22.9	5.7	5.7	8.6	0.0	5.7
	女・40歳代	62	35.5	25.8	25.8	30.6	17.7	8.1	14.5	3.2	1.6	3.2
	女・50歳代	73	41.1	23.3	27.4	21.9	11.0	12.3	5.5	5.5	2.7	9.6
	女・60歳代	60	30.0	26.7	□ 38.3	25.0	18.3	8.3	10.0	1.7	5.0	3.3
	女・70歳以上	61	39.3	34.4	23.0	18.0	16.4	6.6	8.2	6.6	6.6	1.6

15. 生涯学習

(1)「学び」に関する活動の実施

全体では、「はい」が53.5%、「いいえ」が42.8%となっています。

問33 「学び」に関する活動の実施[%]



■ はい

□ いいえ

■ 無回答

性・年代別で見ると、女性30歳代で「いいえ」(60.0%)が全体より高くなっています。

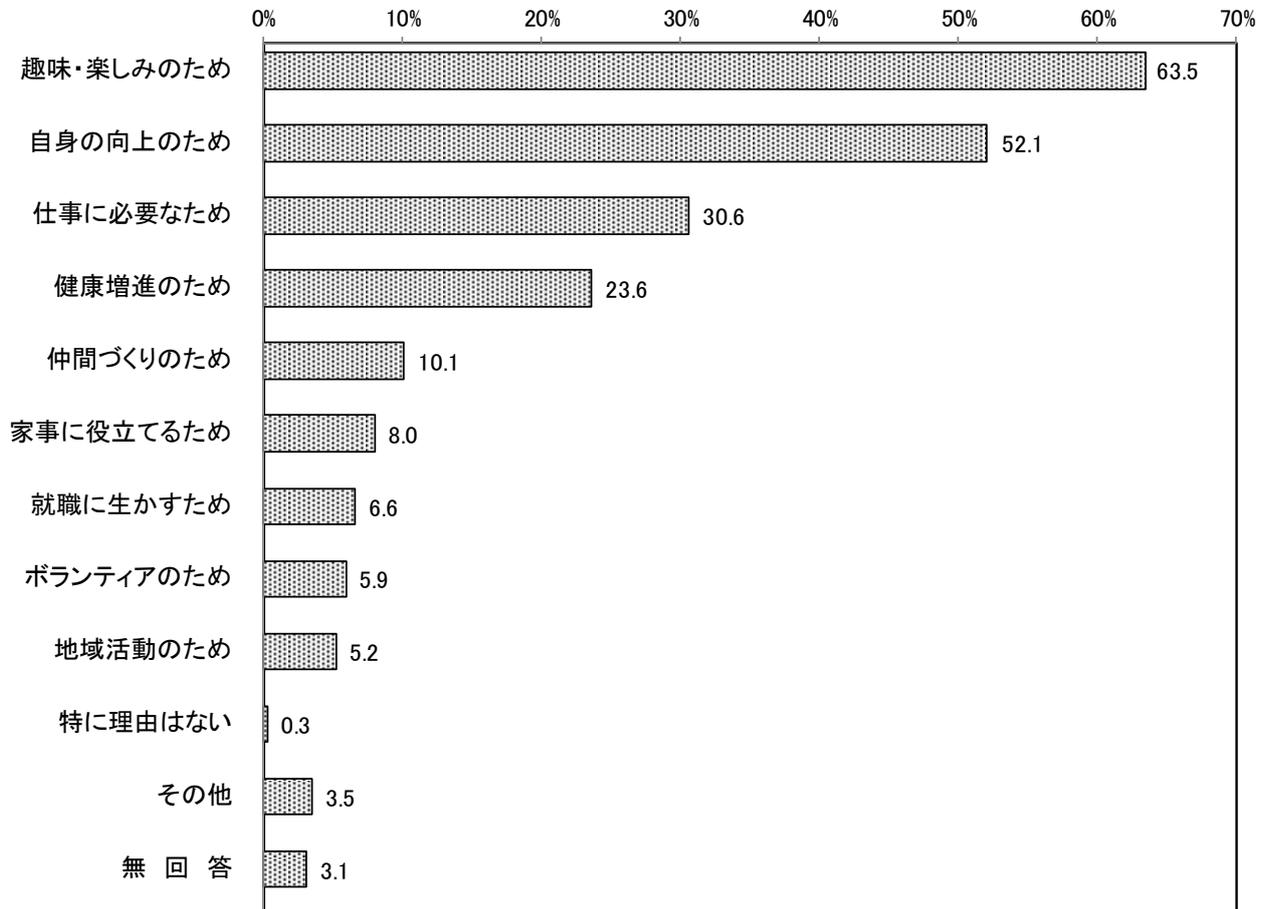
		n	問33 「学び」に関する活動の実施		
			はい	いいえ	無回答
全 体		538	53.5	42.8	3.7
性 別	男	210	50.5	45.2	4.3
	女	315	54.6	42.2	3.2
性・年代別	男・20歳未満	2	50.0	50.0	0.0
	男・20歳代	17	○ 70.6	■ 29.4	0.0
	男・30歳代	22	54.5	45.5	0.0
	男・40歳代	49	■ 38.8	□ 57.1	4.1
	男・50歳代	31	51.6	48.4	0.0
	男・60歳代	40	55.0	42.5	2.5
	男・70歳以上	49	49.0	38.8	12.2
	女・20歳未満	3	☆ 100.0	★ 0.0	0.0
	女・20歳代	21	○ 71.4	■ 28.6	0.0
	女・30歳代	35	■ 40.0	○ 60.0	0.0
	女・40歳代	62	59.7	40.3	0.0
	女・50歳代	73	54.8	45.2	0.0
	女・60歳代	60	■ 43.3	51.7	5.0
	女・70歳以上	61	60.7	■ 27.9	11.5

※(2)、(2)-①は、(1)で「はい」と回答した方みの数値です。

(2)「学び」を行う目的

「はい」と回答した方では、「趣味・楽しみのため」が63.5%、次いで「自身の向上のため」(52.1%)、「仕事に必要なため」(30.6%)となっています。

問34 「学び」を行う目的〔%・複数回答〕
全体(n=288)

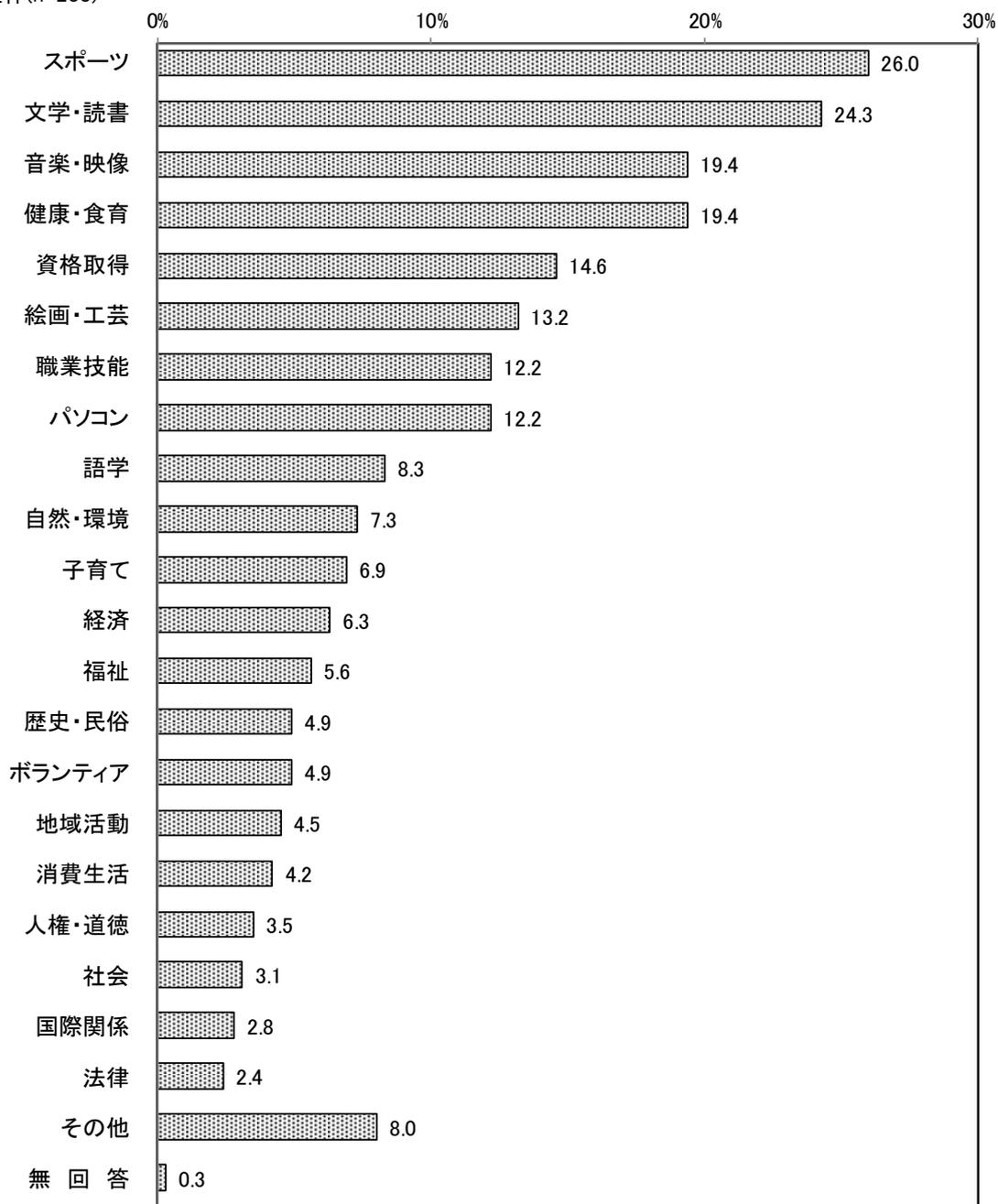


「その他」の回答内容	件数
子育てのため	3
今後の自分と周囲のため	1
老後、健康でいられるため	1
受験のため	1
その他	4

(2)-①「学び」の分野

「はい」と回答した方では、「スポーツ」が26.0%、次いで「文学・読書」(24.3%)、「音楽・映像」・「健康・食育」(19.4%)となっています。

問34-1 「学び」の分野[%・複数回答]
全体(n=288)



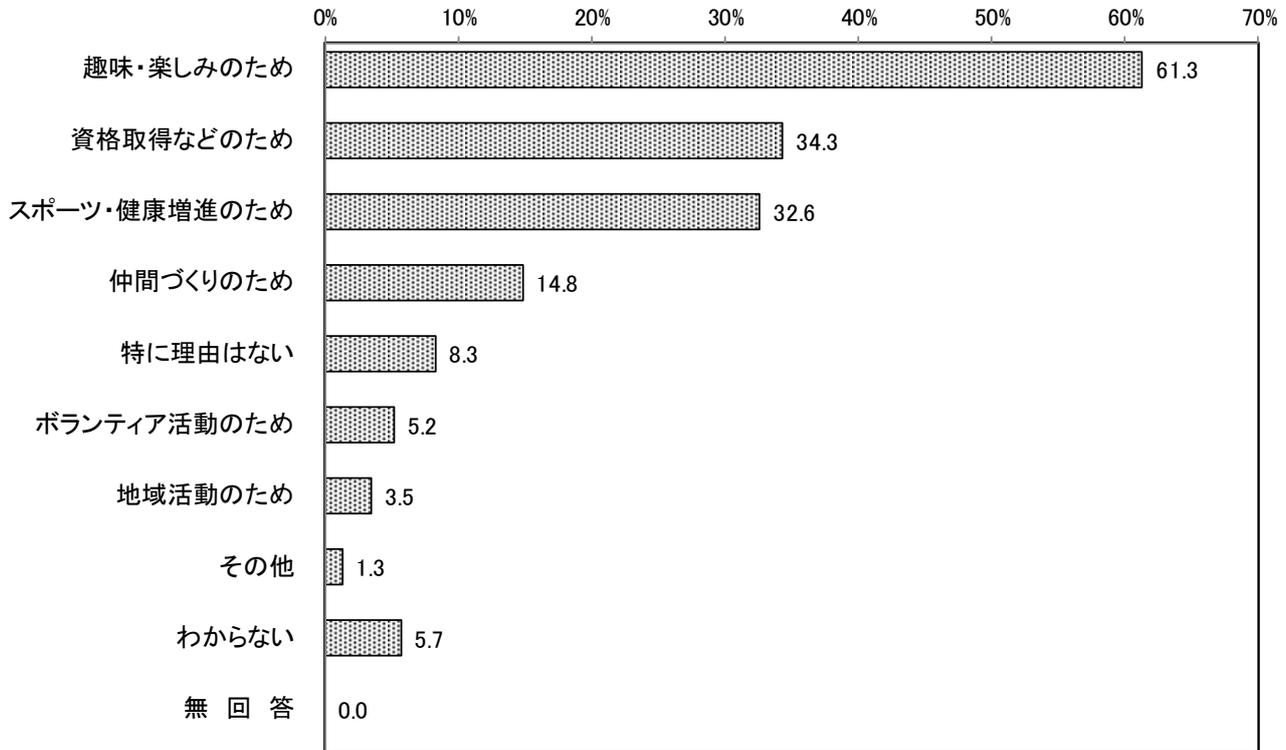
「その他」の回答内容	件数
農業	3
手芸	3
医療	2
教育	2
防犯・防災、コロナ対策	1
その他	12

※(3)、(3)-①は、(1)で「いいえ」と回答した方みの数値です。

(3)これからの「学び」に取り組むための目的

「いいえ」と回答した方では、「趣味・楽しみのため」が61.3%、次いで「資格取得などのため」(34.3%)、「スポーツ・健康増進のため」(32.6%)となっています。

問35 これからの「学び」に取り組むための目的〔%・複数回答〕
全体(n=230)

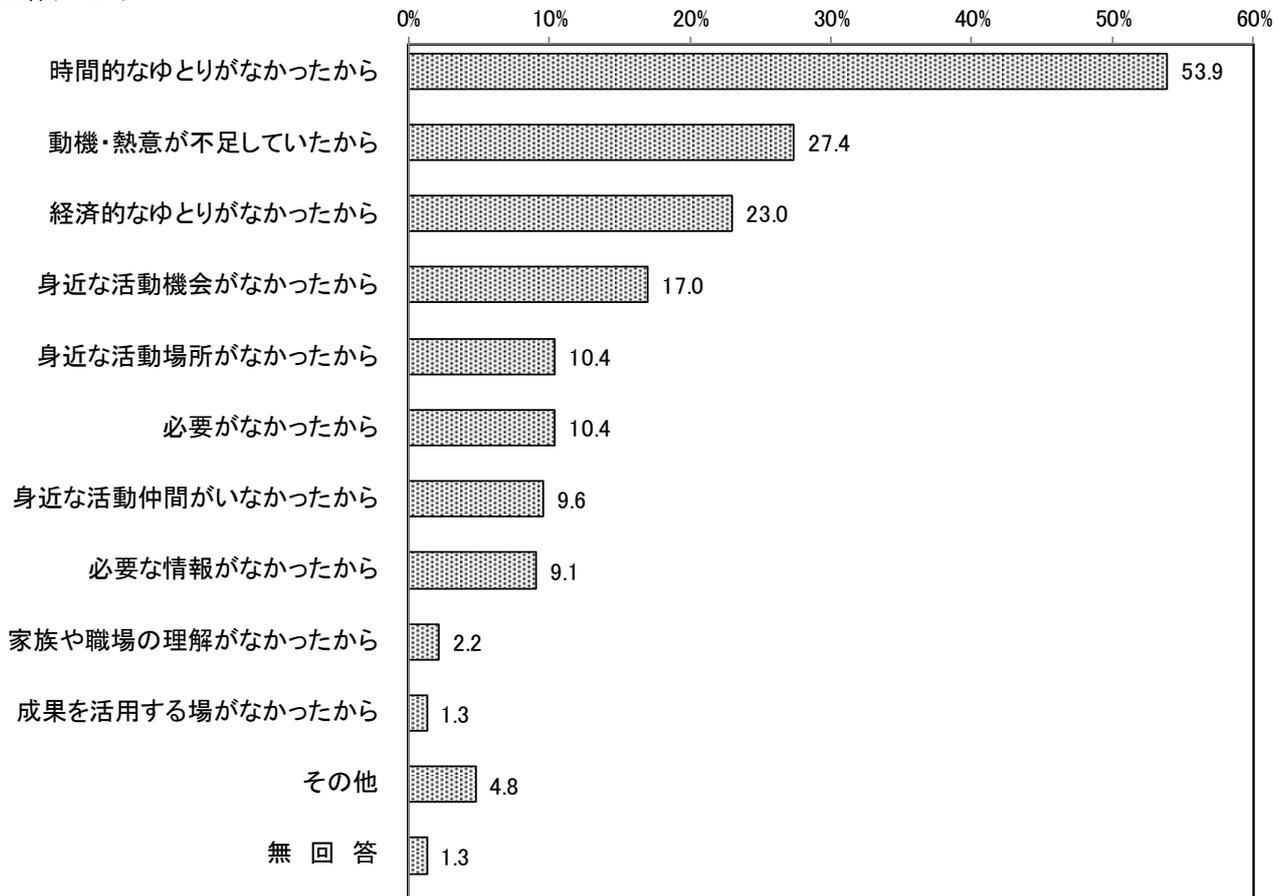


「その他」の回答内容	件数
仕事に役立つもの	1
健康を害し元気が出ない	1

(3)-①「学び」に取り組まなかった理由

「いいえ」と回答した方では、「時間的なゆとりがなかったから」が 53.9%、次いで「動機・熱意が不足していたから」(27.4%)、「経済的なゆとりがなかったから」(23.0%) となっています。

問35-1 「学び」に取り組まなかった理由〔%・複数回答〕
全体(n=230)

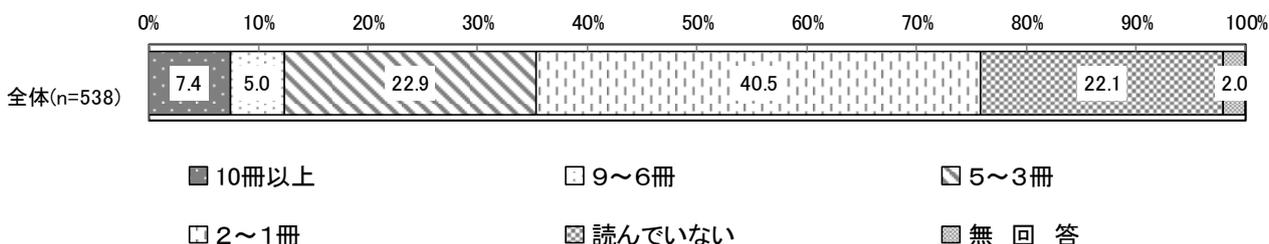


「その他」の回答内容	件数
体調が良くない、ケガをしたため	4
精神的なゆとりがなかったから	1
育児中だったから	1
コロナ禍で自粛	1
最近引越してきたので	1

(4) 月間の読書冊数

全体では、「2～1冊」が40.5%、次いで「5～3冊」(22.9%)、「読んでいない」(22.1%)となっています。

問36 月間の読書冊数[%]



性・年代別で見ると、男性50歳代で「5～3冊」(38.7%)が全体より高く、「2～1冊」(22.6%)が全体より低くなっています。

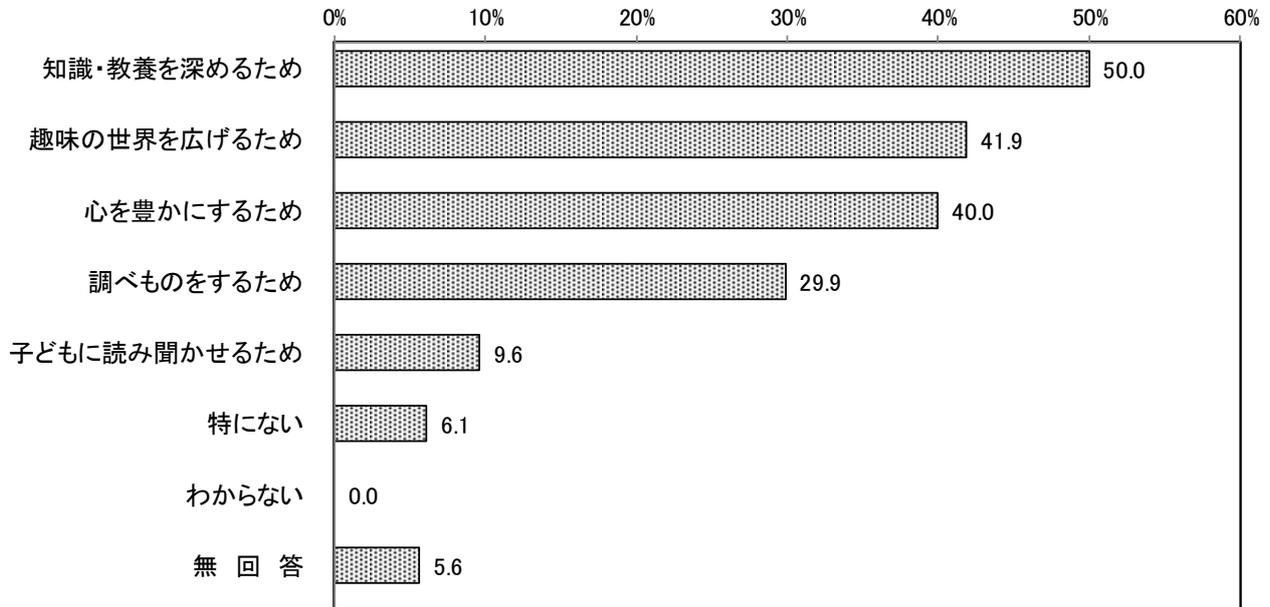
		n	問36 月間の読書冊数					無回答
			10冊以上	9～6冊	5～3冊	2～1冊	読んでいない	
全体		538	7.4	5.0	22.9	40.5	22.1	2.0
性別	男	210	5.2	6.2	20.0	37.6	28.6	2.4
	女	315	8.6	4.4	25.4	41.9	17.8	1.9
性・年代別	男・20歳未満	2	0.0	0.0	☆ 50.0	★ 0.0	☆ 50.0	0.0
	男・20歳代	17	0.0	5.9	● 5.9	□ 52.9	29.4	5.9
	男・30歳代	22	13.6	9.1	■ 9.1	31.8	□ 36.4	0.0
	男・40歳代	49	6.1	4.1	14.3	38.8	□ 34.7	2.0
	男・50歳代	31	3.2	9.7	○ 38.7	● 22.6	25.8	0.0
	男・60歳代	40	5.0	2.5	22.5	50.0	20.0	0.0
	男・70歳以上	49	4.1	8.2	20.4	34.7	26.5	6.1
	女・20歳未満	3	0.0	0.0	★ 0.0	☆ 66.7	□ 33.3	0.0
	女・20歳代	21	9.5	0.0	23.8	42.9	19.0	4.8
	女・30歳代	35	17.1	0.0	25.7	31.4	25.7	0.0
	女・40歳代	62	8.1	8.1	30.6	32.3	21.0	0.0
	女・50歳代	73	8.2	4.1	24.7	46.6	16.4	0.0
	女・60歳代	60	5.0	3.3	28.3	□ 51.7	■ 11.7	0.0
	女・70歳以上	61	8.2	6.6	19.7	41.0	16.4	8.2

※(4)-①、(4)-②は、(4)で「読んでいない」以外を回答した方のみの数値です。

(4)-①読書の目的

全体では、「知識・教養を深めるため」が50.0%、次いで「趣味の世界を広げるため」(41.9%)、「心を豊かにするため」(40.0%)となっています。

問37 読書の目的〔%・複数回答〕
全体(n=408)



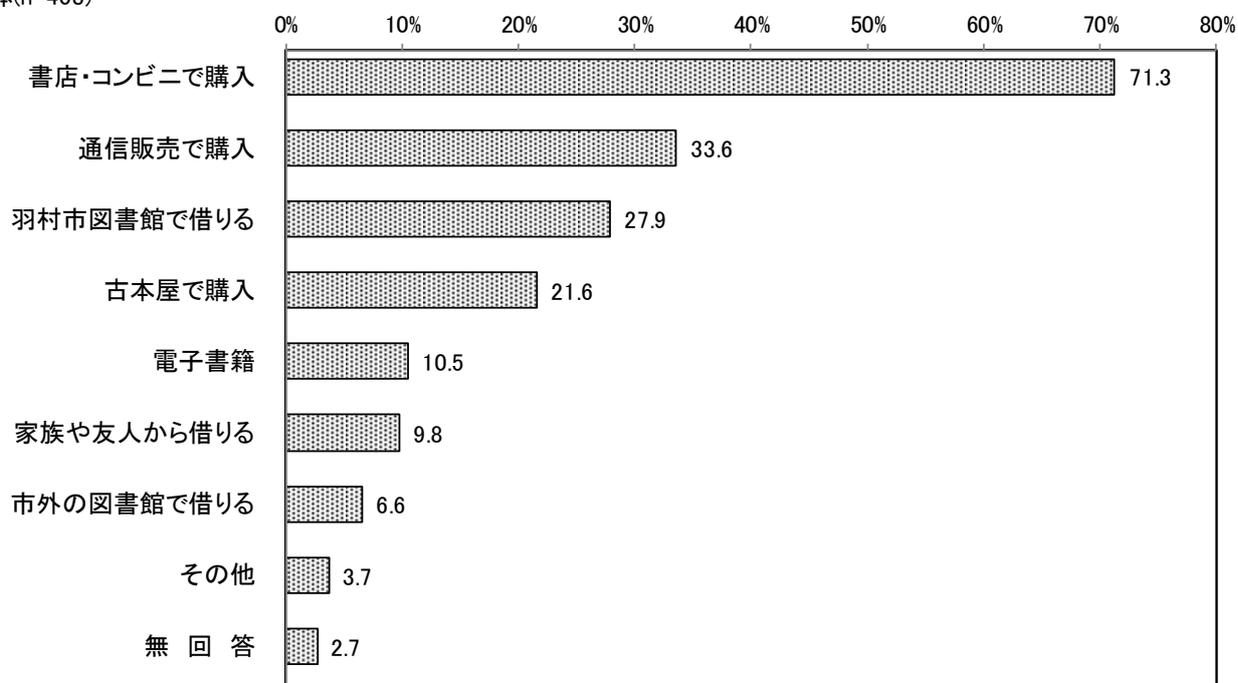
性・年代別で見ると、男性40歳代(19.4%)、男性70歳以上(15.2%)で「心を豊かにするため」が全体よりとても低くなっています。

	n	問37 読書の目的							
		知識・教養を深めるため	趣味の世界を広げるため	心を豊かにするため	調べものをするため	子どもに読み聞かせるため	特にない	わからない	無回答
全体	408	50.0	41.9	40.0	29.9	9.6	6.1	0.0	5.6
性別									
男	145	55.9	48.3	29.0	27.6	2.8	6.9	0.0	6.2
女	253	47.0	37.9	47.0	30.8	13.4	5.9	0.0	5.1
性・年代別									
男・20歳未満	1	☆100.0	☆100.0	☆100.0	★0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男・20歳代	11	54.5	□54.5	■27.3	■18.2	9.1	□18.2	0.0	0.0
男・30歳代	14	50.0	○57.1	○57.1	21.4	14.3	7.1	0.0	0.0
男・40歳代	31	58.1	48.4	★19.4	32.3	3.2	0.0	0.0	9.7
男・50歳代	23	□60.9	43.5	39.1	○47.8	0.0	8.7	0.0	0.0
男・60歳代	32	53.1	43.8	31.3	21.9	0.0	9.4	0.0	12.5
男・70歳以上	33	54.5	48.5	★15.2	21.2	0.0	6.1	0.0	6.1
女・20歳未満	2	★0.0	50.0	★0.0	☆50.0	0.0	☆50.0	0.0	0.0
女・20歳代	16	50.0	50.0	□50.0	☆56.3	0.0	6.3	0.0	0.0
女・30歳代	26	50.0	○61.5	46.2	38.5	☆46.2	0.0	0.0	0.0
女・40歳代	49	□63.3	38.8	38.8	24.5	○26.5	2.0	0.0	2.0
女・50歳代	61	47.5	■31.1	45.9	31.1	4.9	8.2	0.0	8.2
女・60歳代	53	●34.0	39.6	□50.9	28.3	5.7	7.5	0.0	7.5
女・70歳以上	46	43.5	●26.1	□54.3	26.1	6.5	6.5	0.0	6.5

(4)-②本の入手方法

全体では、「書店・コンビニで購入」が 71.3%、次いで「通信販売で購入」(33.6%)、「羽村市図書館で借りる」(27.9%) となっています。

問38 本の入手方法[%・複数回答]
全体(n=408)



「その他」の回答内容	件数
職場にある本を使用	3
保育園から借りる	1
新聞小説等	1
スーパーで購入	1
学校で購入	1
その他	6

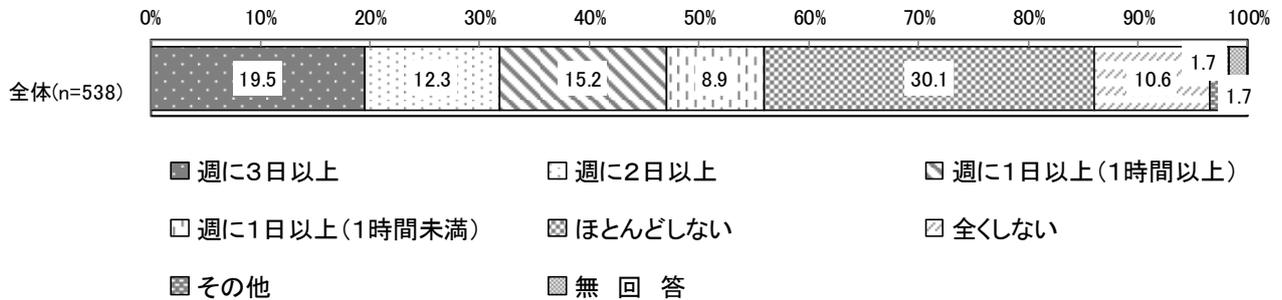
性・年代別で見ると、女性40歳代（42.9%）、女性70歳以上（43.5%）で「羽村市図書館で借りる」が全体より高くなっています。

		n	問38 本の入手方法								
			書店・コンビニで購入	通信販売で購入	羽村市図書館で借りる	古本屋で購入	電子書籍	家族や友人から借りる	市外の図書館で借りる	その他	無回答
全体		408	71.3	33.6	27.9	21.6	10.5	9.8	6.6	3.7	2.7
性別	男	145	73.1	33.1	23.4	23.4	9.0	4.1	2.8	0.7	2.1
	女	253	71.1	34.8	30.4	20.6	11.5	13.0	9.1	5.5	2.8
性・年代別	男・20歳未満	1	☆ 100.0	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	■ 0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	男・20歳代	11	□ 81.8	☆ 54.5	18.2	18.2	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	男・30歳代	14	71.4	35.7	■ 14.3	☆ 42.9	□ 21.4	7.1	0.0	0.0	0.0
	男・40歳代	31	67.7	35.5	32.3	25.8	6.5	9.7	0.0	0.0	3.2
	男・50歳代	23	□ 82.6	39.1	★ 4.3	26.1	17.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	男・60歳代	32	71.9	31.3	18.8	18.8	6.3	0.0	9.4	3.1	3.1
	男・70歳以上	33	69.7	■ 21.2	□ 39.4	18.2	3.0	6.1	3.0	0.0	3.0
	女・20歳未満	2	☆ 100.0	○ 50.0	☆ 50.0	☆ 50.0	■ 0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女・20歳代	16	□ 81.3	○ 50.0	25.0	● 6.3	12.5	☆ 31.3	○ 25.0	0.0	0.0
	女・30歳代	26	76.9	○ 50.0	■ 15.4	26.9	☆ 30.8	19.2	3.8	11.5	0.0
	女・40歳代	49	63.3	38.8	○ 42.9	28.6	16.3	6.1	□ 18.4	6.1	0.0
	女・50歳代	61	77.0	□ 44.3	23.0	21.3	8.2	8.2	6.6	4.9	6.6
	女・60歳代	53	67.9	■ 22.6	24.5	17.0	3.8	15.1	1.9	3.8	3.8
	女・70歳以上	46	67.4	● 17.4	○ 43.5	15.2	8.7	15.2	8.7	6.5	2.2

(5) 年間のスポーツ・運動日数

全体では、「ほとんどしない」が30.1%、次いで「週に3日以上」(19.5%)、「週に1日以上(1時間以上)」(15.2%)となっています。

問39 年間のスポーツ・運動日数[%]



「その他」の回答内容	件数
毎日の仕事や家事が運動	2
毎日ウォーキングしている	2
コロナ禍で運動量が減った	2
毎日体を動かす	1
2~3か月に一度、3~4時間程度の散歩	1
体調が悪い	1

性・年代別で見ると、男性70歳以上で「ほとんどしない」(14.3%)が全体より低くなっています。

	n	問39 年間のスポーツ・運動日数							
		週に3日以上	週に2日以上	週に1日以上(1時間以上)	週に1日以上(1時間未満)	ほとんどしない	全くしない	その他	無回答
全体	538	19.5	12.3	15.2	8.9	30.1	10.6	1.7	1.7
性別									
男	210	19.0	14.3	18.6	7.1	26.2	11.4	1.0	2.4
女	315	20.0	10.5	12.7	10.5	32.4	10.5	2.2	1.3
性・年代別									
男・20歳未満	2	● 0.0	☆ 50.0	● 0.0	0.0	○ 50.0	■ 0.0	0.0	0.0
男・20歳代	17	17.6	11.8	23.5	0.0	35.3	11.8	0.0	0.0
男・30歳代	22	22.7	18.2	18.2	9.1	27.3	4.5	0.0	0.0
男・40歳代	49	16.3	8.2	□ 26.5	6.1	24.5	14.3	0.0	4.1
男・50歳代	31	■ 6.5	12.9	□ 29.0	9.7	35.5	6.5	0.0	0.0
男・60歳代	40	25.0	12.5	10.0	10.0	30.0	12.5	0.0	0.0
男・70歳以上	49	24.5	20.4	10.2	6.1	● 14.3	14.3	4.1	6.1
女・20歳未満	3	☆ 66.7	■ 0.0	● 0.0	0.0	33.3	■ 0.0	0.0	0.0
女・20歳代	21	14.3	4.8	9.5	14.3	□ 42.9	14.3	0.0	0.0
女・30歳代	35	20.0	5.7	11.4	17.1	□ 42.9	2.9	0.0	0.0
女・40歳代	62	11.3	4.8	16.1	8.1	□ 41.9	16.1	1.6	0.0
女・50歳代	73	20.5	11.0	12.3	12.3	27.4	15.1	1.4	0.0
女・60歳代	60	18.3	21.7	8.3	8.3	30.0	8.3	3.3	1.7
女・70歳以上	61	□ 29.5	9.8	16.4	8.2	21.3	4.9	4.9	4.9

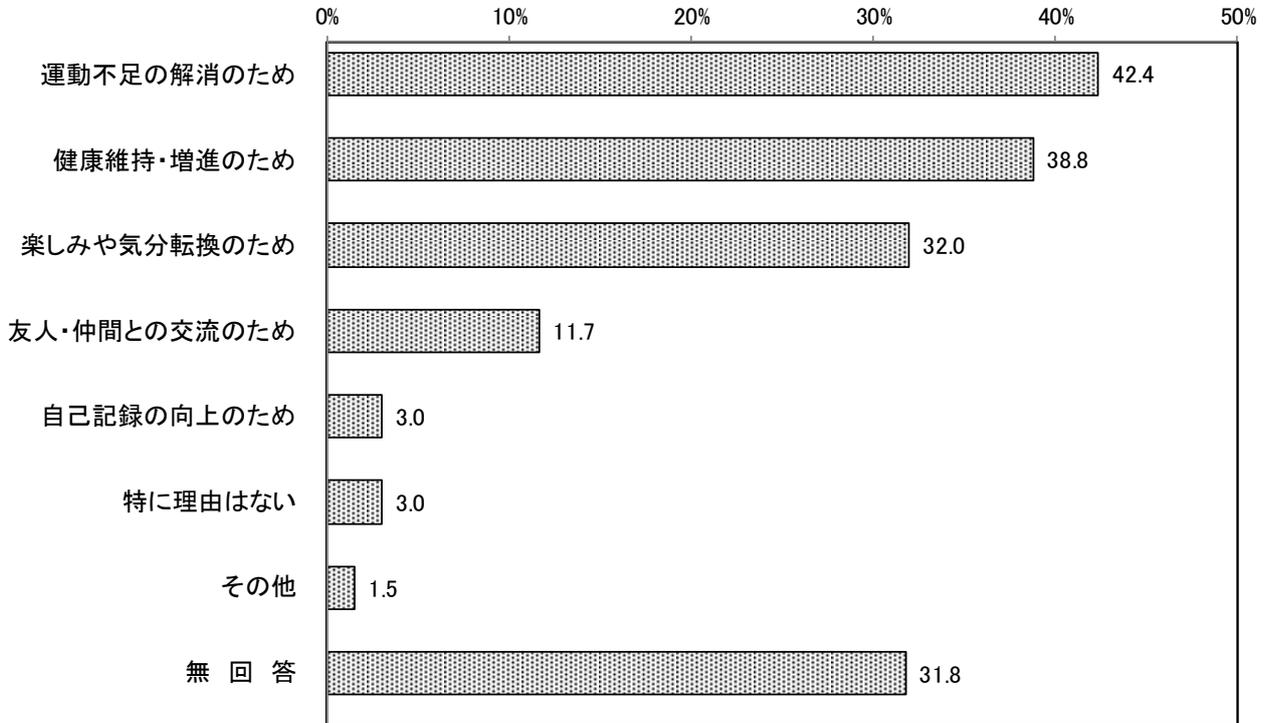
※(5)-①、(5)-②は、(5)で「全くしない」以外を回答した方だけの数値です。

(5)-①スポーツ・運動を行う理由

全体では、「運動不足の解消のため」が 42.4%、次いで「健康維持・増進のため」(38.8%)、「楽しみや気分転換のため」(32.0%) となっています。

問40 スポーツ・運動を行う理由[%・複数回答]

全体(n=472)

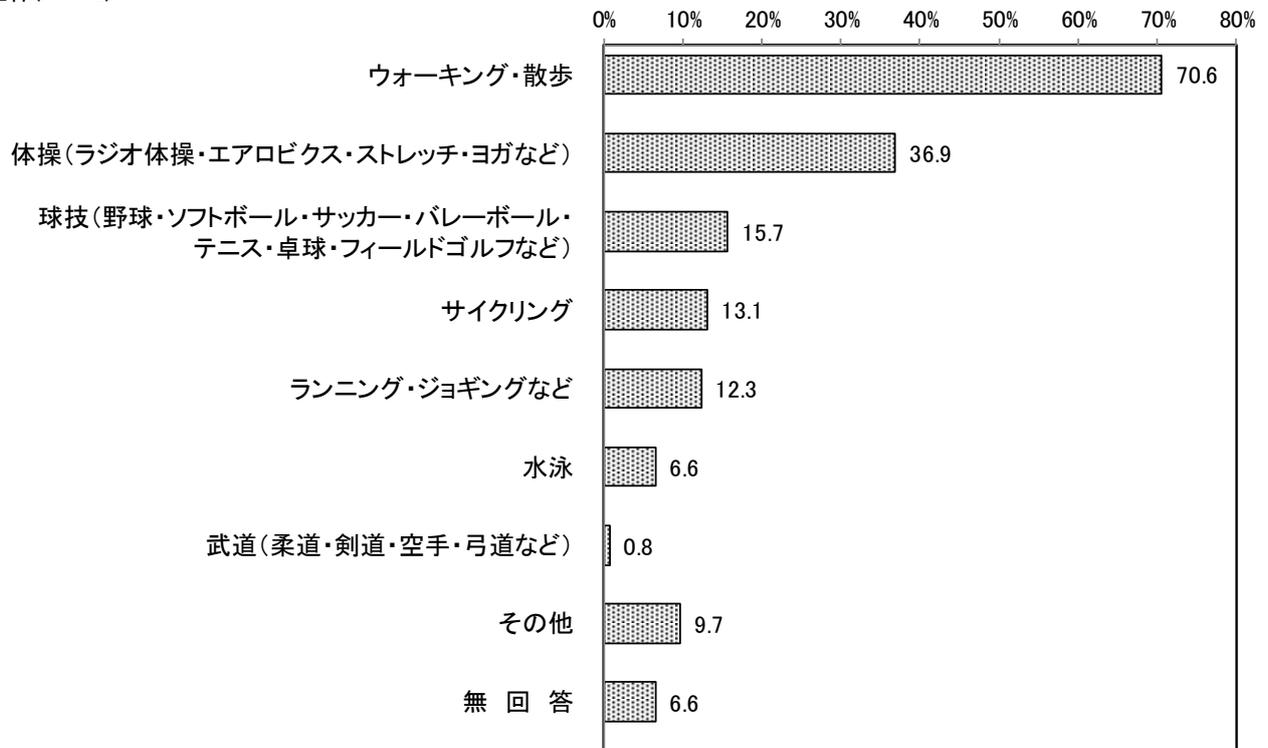


「その他」の回答内容	件数
子どものため	2
ダイエット	1
ペットのため	1
精神向上のため	1
その他	2

(5)-②この1年間に行ったスポーツ・運動の種目

全体では、「ウォーキング・散歩」が70.6%、次いで「体操（ラジオ体操・エアロビクス・ストレッチ・ヨガなど）」（36.9%）、「球技（野球・ソフトボール・サッカー・バレーボール・テニス・卓球・フィールドゴルフなど）」（15.7%）となっています。

問41 この1年間に行ったスポーツ・運動の種目〔%・複数回答〕
全体(n=472)



「その他」の回答内容	件数
筋力トレーニング	16
登山・ハイキング	8
乗馬	3
スノーボード	3
なわとび	2
舞踊	2
ゴルフ	2
その他	10